

## コンサルタント業務の発注方式に関するアンケート調査結果

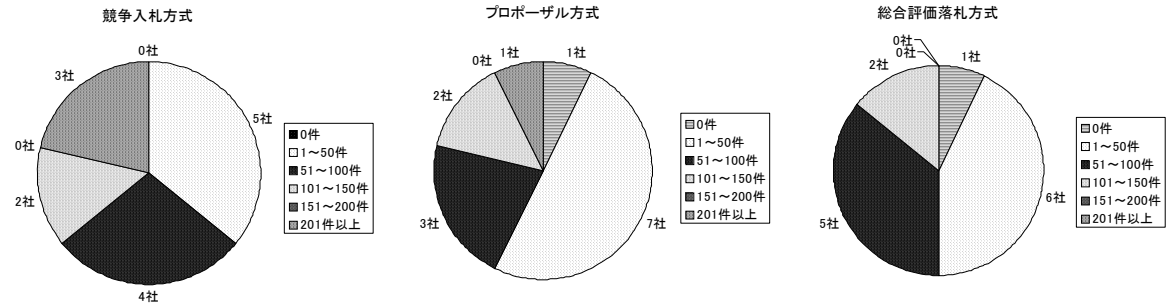
### ■ アンケート調査の概要

- アンケート対象:建設マネジメント研究委員会およびトンネル研究委員会の会員企業(27社)
- アンケート期間:平成22年12月1日～平成23年2月4日
- アンケート方式:メール、FAXによる無記名式アンケート
- アンケート項目:コンサルタント業務の発注方式に関する以下の大項目
  - ① 一般・公募型及び指名競争入札方式について
  - ② プロポーザル及び総合評価落札方式について
  - ③ 技術提案の評価について
  - ④ 低入札対策について
  - ⑤ 調査基準価格の設定について
  - ⑥ 設計共同体について
  - ⑦ 公益法人との重複入札について
  
- アンケート回収率:55.6%(15社(道内企業9社、道外企業6社)/27社、)

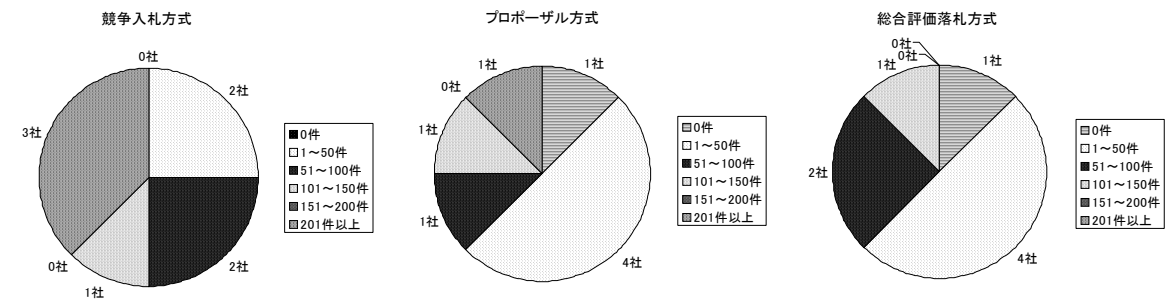
## [参加及び応募状況、受注状況]

平成22年1月以降に公告となった、北海道開発局発注の競争入札、プロポーザル方式、総合評価落札方式等の参加・応募状況、受注状況についてお尋ねします。参加・応募件数、受注件数をご記入ください。

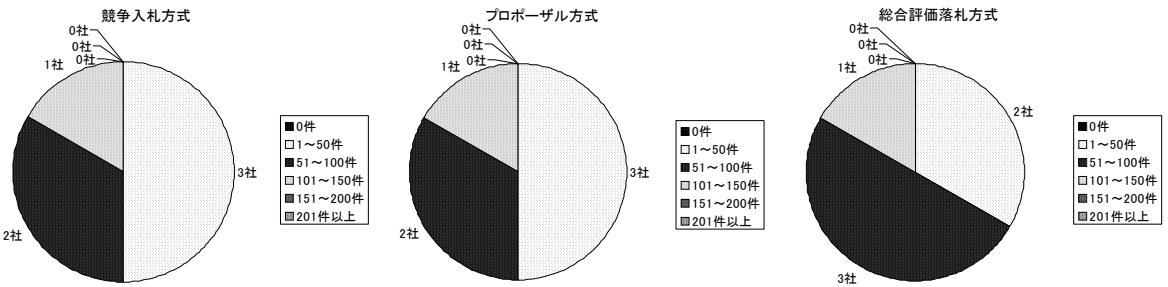
### ①全体



### ②道内企業

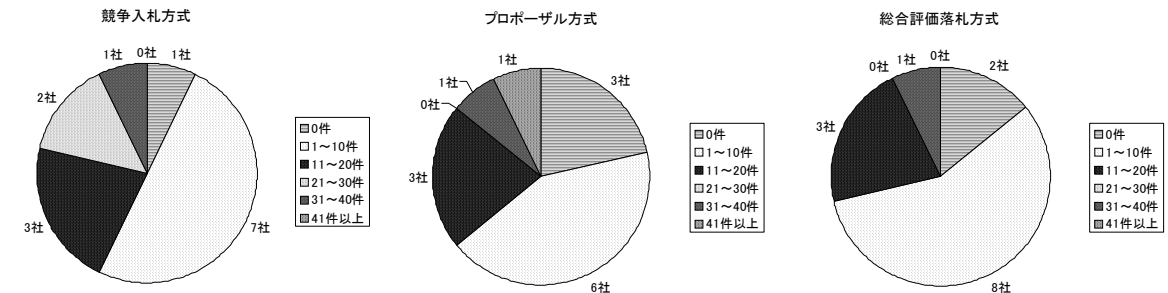


### ③道外企業

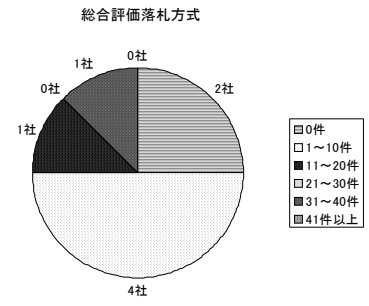
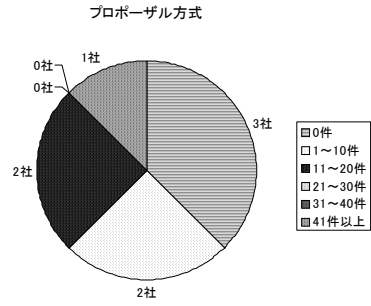
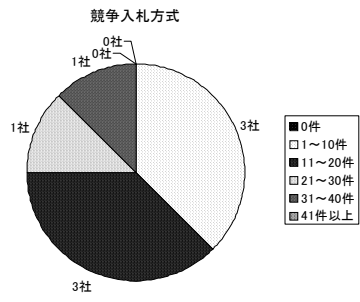


## 上記応募・参加件数の内、受注件数

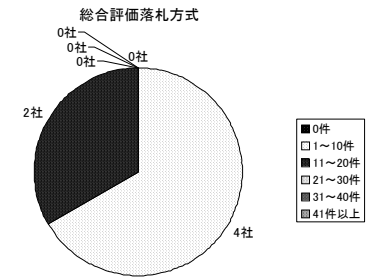
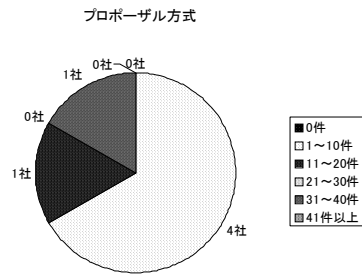
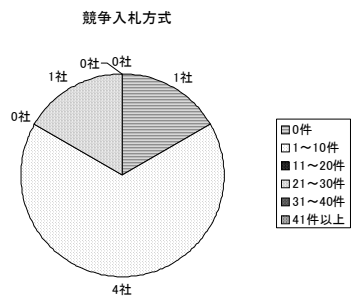
### ①全体



## ②道内企業



## ③道外企業

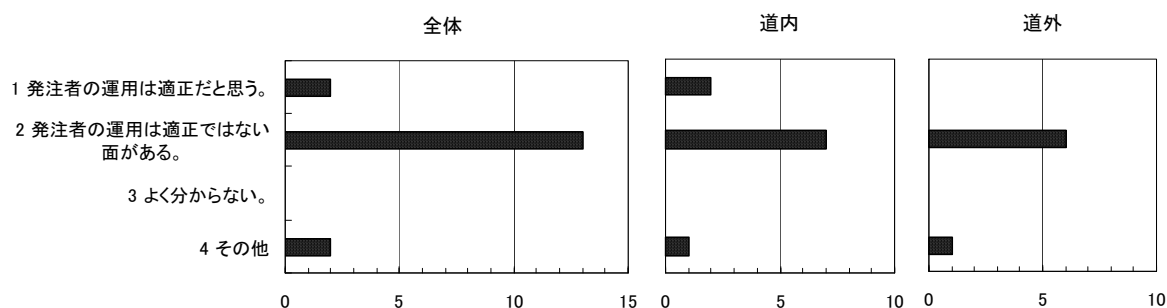


## [設問1]一般・公募(簡易公募)型及び指名競争入札方式について

### 1-1. 一般及び公募(簡易公募)型競争入札の運用について、どのようにお考えですか。

- 1.発注者の運用は適正だと思う。
- 2.発注者の運用は適正ではない面がある。
- 3.よく分からない。
- 4.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

➤「発注者の運用は適正ではない面がある」という回答が、9割近くを占めている。



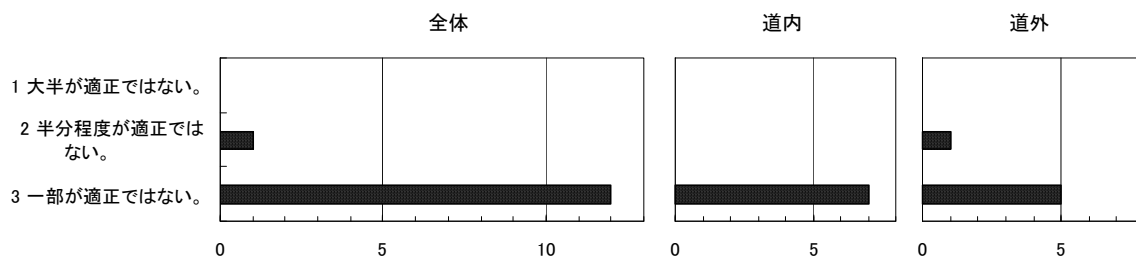
#### <その他意見>

- 公募型参加数が無制限であり、62社が参加した建設部がある。評価条件付きで一定の制限をされたい。
- 標準歩掛りのない検討業務など、本来プロポーザルにすべき業務が価格競争になっている場合がある。

→1-1で「2. 発注者の運用は適正ではない面がある」と答えた方にお聞きします。運用が適正ではないと思う程度についてお聞きします。

- 1.大半が適正ではない。
- 2.半分程度が適正ではない。
- 3.一部が適正ではない。

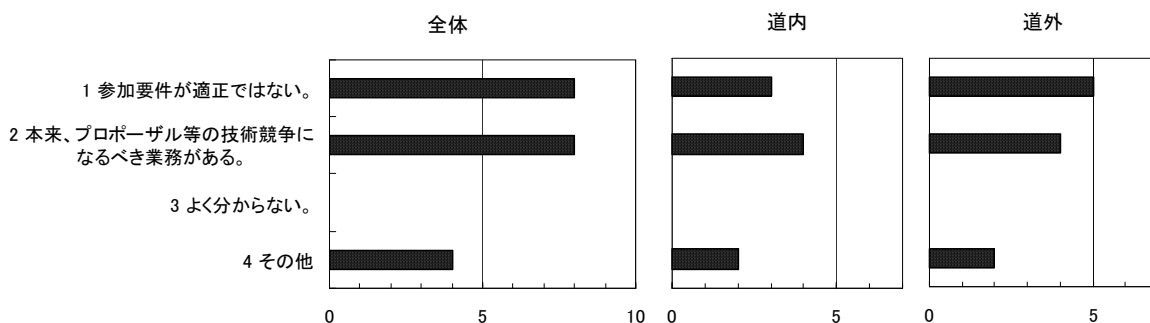
➤ 適正でない程度については、ほとんどが「一部が適正ではない」と回答している。



→1-1で「2. 発注者の運用は適正ではない面がある」と答えた方にお聞きします。運用が適正ではないと思う項目についてお聞きします。(複数回答可)

- 1.参加要件が適正ではない。(下段に詳細回答をお願いします)
- 2.本来、プロポーザル等の技術競争になるべき業務がある。
- 3.よく分からない。
- 4.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

➤ 発注者の運用は適正ではないと思う項目としては、道内、道外企業ともに、「参加要件が適正でない」と「本来、プロポーザル等の技術競争となるべき業務がある」にほぼ同数の回答となっているが、比率的には道内企業に比べ道外企業の方が適正でないと思っている割合が大きい。



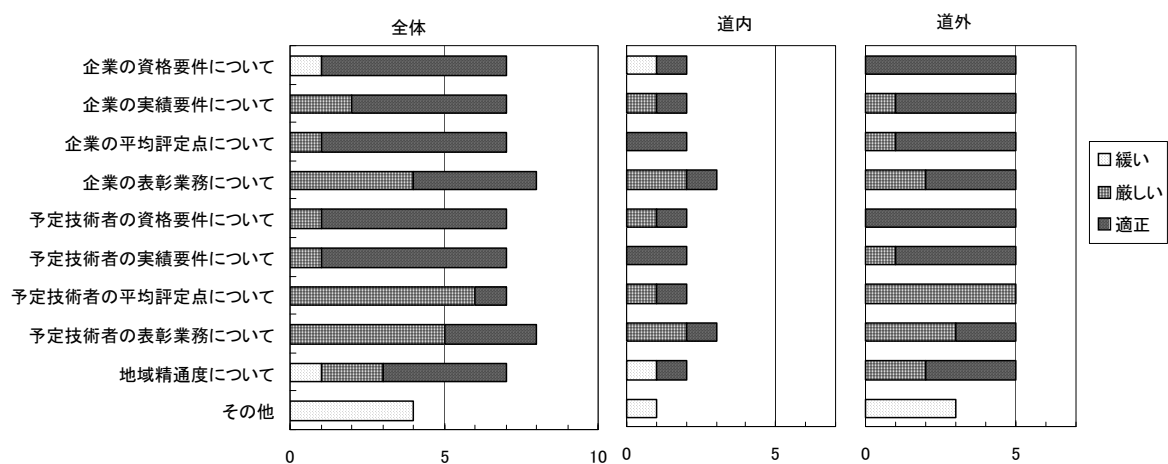
<その他意見>

- (公益法人対一般法人)又(公益法人と一般法人のJV対一般法人)との価格競争はおかしい。違反ではないか？
- 高度な技術提案を必要としない地質調査については従来通りの指名競争入札が良いと思う。
- 一般および公募(簡易公募)型競争入札案件の選定基準が不明確と思われる。
- 年度末の発注は指名競争入札方式が多いが、技術難易度によるべき。

→上記で「1. 参加要件が適正でない」と答えた方にお聞きします。参加要件が適正でないと思うのはどうしてですか。(複数回答可)

- 企業の資格要件について(緩い・厳しい・適正)
- 企業の実績要件について(緩い・厳しい・適正)
- 企業の平均評定点について(緩い・厳しい・適正)
- 企業の表彰業務について(緩い・厳しい・適正)
- 予定技術者の資格要件について(緩い・厳しい・適正)
- 予定技術者の実績要件について(緩い・厳しい・適正)
- 予定技術者の平均評定点について(緩い・厳しい・適正)
- 予定技術者の表彰業務について(緩い・厳しい・適正)
- 地域精通度について(緩い・厳しい・適正)
- その他(具体的に記述してください。)

➤ 道外企業においては、「予定技術者の平均評定点」についての運用が厳しいという意見が目立っており、次いで「予定技術者の表彰業務」となっている。  
 ➤ 一方、道内企業においては、企業ならびに技術者の表彰業務についての運用が厳しいという意見が複数社からあがっている程度であり、道外企業に比較し運用に対する不満としての意見は少ない。



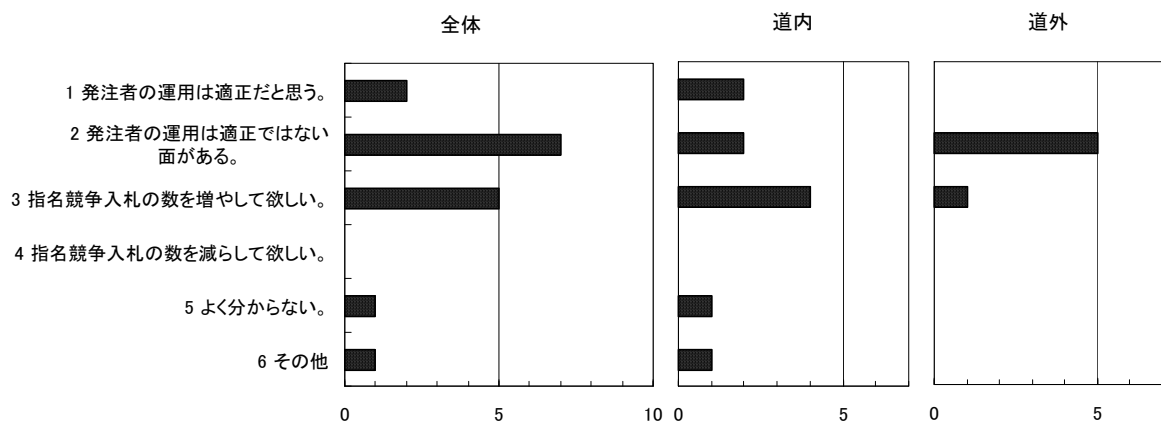
<その他意見>

- 公益法人の参加が否
- 技術者の平均評価点が、管理技術者のみの評価である。この要件では、若い技術者の登用・育成が困難となる。
- 担当者として従事した業務の評定点、表彰を評価対象にして頂きたい。
- 選定基準が非公表の業務があった。

1-2. 指名競争入札の運用について、どのようにお考えですか。

- 1.発注者の運用は適正だと思う。
- 2.発注者の運用は適正ではない面がある。
- 3.指名競争入札の数を増やして欲しい。
- 4.指名競争入札の数を減らして欲しい。
- 5.よく分からない。
- 6.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

➤ 本質問については、道内企業と道外企業で意見が分かれており、道内企業では「指名競争入札の数を増やして欲しい」という回答が多いのに対して、道外企業では「発注者の運用は適正ではない面がある」という回答が多い。



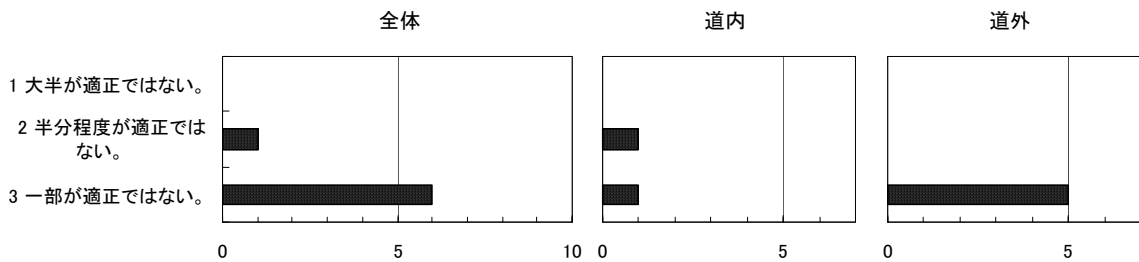
<その他意見>

- 業務内容に応じた指名の組合せが必要。クラス別けをしてほしい。

→1-2で「2. 発注者の運用は適正ではない面がある」と答えた方にお聞きます。運用が適正ではないと思う程度についてお聞きます。

1.大半が適正ではない。  
2.半分程度が適正ではない。  
3.一部が適正ではない。

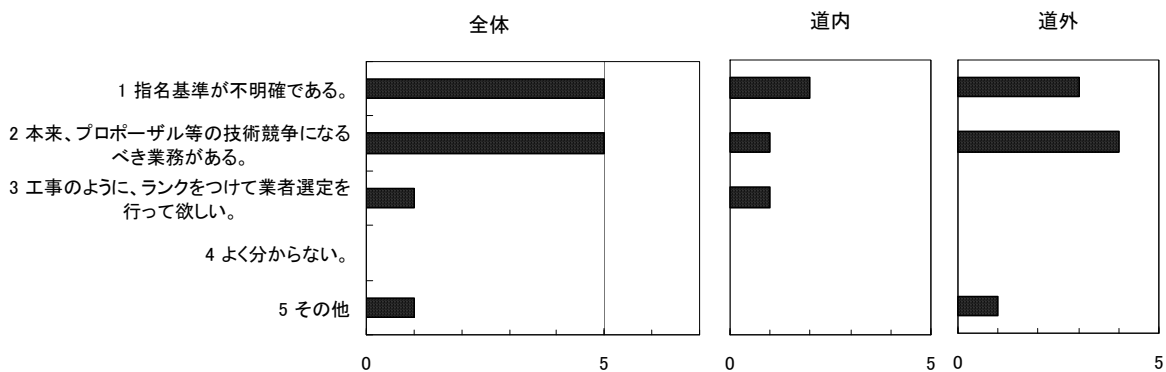
- 「発注者の運用は適正でない面がある。」とした回答者のうち、その程度については、ほとんど(6社/7社)が、「一部が適正ではない」としている。



→1-2で「2. 発注者の運用は適正ではない面がある」と答えた方にお聞きます。運用が適正ではないと思う項目についてお聞きます。(複数回答可)

1.指名基準が不明確である。  
2.本来、プロポーザル等の技術競争になるべき業務がある。  
3.工事のように、ランクをつけて業者選定を行って欲しい。  
4.よく分からない。  
5.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 発注者の運用は適正でないと思う項目については、全体では「指名基準が不明確である」と「本来、プロポーザル等の技術競争になるべき業務がある」とが同数で多く、特に道外企業において、後者についての回答が多い。



<その他意見>

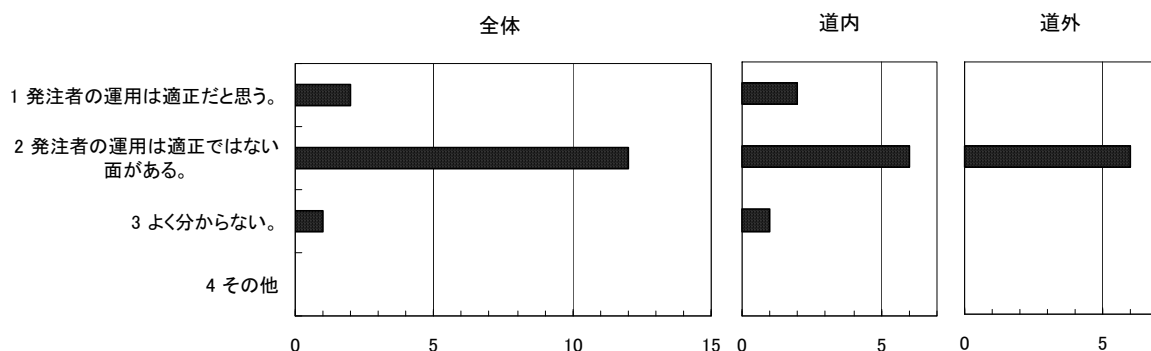
- 指名基準が明確でなく、コンサルタントの固定化や指名業者の地域性が大きい。

## [設問2] プロポーザルおよび総合評価落札方式について

### 2-1. プロポーザル方式の運用について、どのようにお考えですか。

- 1.発注者の運用は適正だと思う。
- 2.発注者の運用は適正ではない面がある。
- 3.よく分からない。
- 4.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

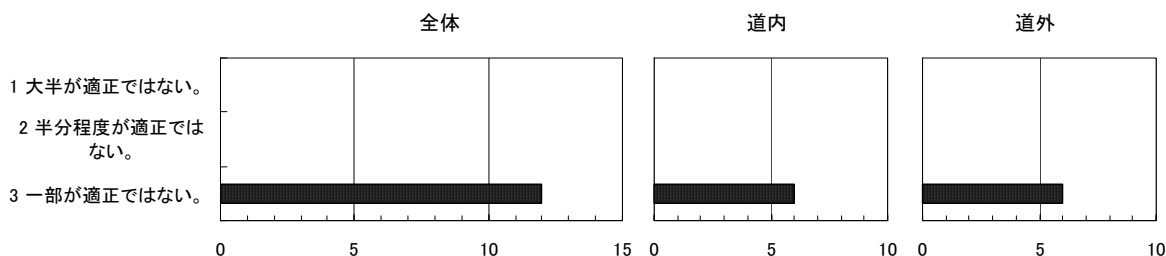
➤ 全体の8割が「発注者の運用は適正ではない面がある」と回答している。道外企業においては、100%がそのように回答している。



→2-1で「2. 発注者の運用は適正ではない面がある」と答えた方にお聞きします。運用が適正ではないと思う程度についてお聞きします。

- 1.大半が適正ではない。
- 2.半分程度が適正ではない。
- 3.一部が適正ではない。

➤ 「発注者の運用は適正ではない面がある」と回答した企業の、その程度については全員が「一部が適正ではない」と回答している。

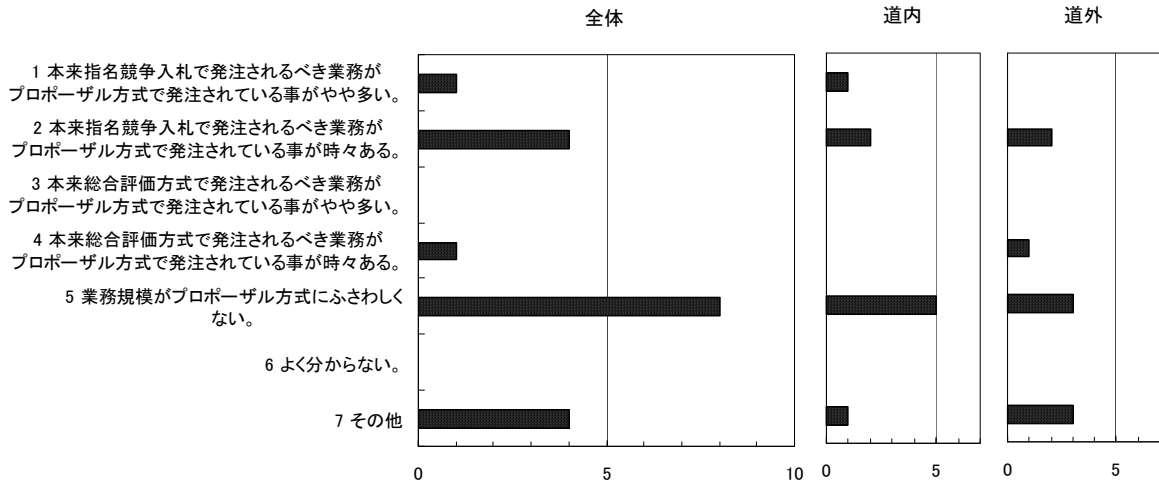




→2-1で「2. 発注者の運用は適正ではない面がある」と答えた方にお聞きします。運用が適正ではないと思う項目についてお聞きします。(複数回答可)

- 1.本来指名競争入札で発注されるべき業務がプロポーザル方式で発注されている事がやや多い。
- 2.本来指名競争入札で発注されるべき業務がプロポーザル方式で発注されている事が時々ある。
- 3.本来総合評価方式で発注されるべき業務がプロポーザル方式で発注されている事がやや多い。
- 4.本来総合評価方式で発注されるべき業務がプロポーザル方式で発注されている事が時々ある。
- 5.業務規模がプロポーザル方式にふさわしくない。
- 6.よく分からない。
- 7.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 「発注者の運用は適正ではない面がある」と回答した企業において、運用が適正ではないと思う項目としては、「業務規模がプロポーザル方式にふさわしくない」という回答が際だって多い。
- 次いで、「本来指名競争入札で発注されるべき業務がプロポーザル方式で発注されている事が時々ある」という回答が多い。
- この質問に対しては、特に道内・道外の間で差はない。



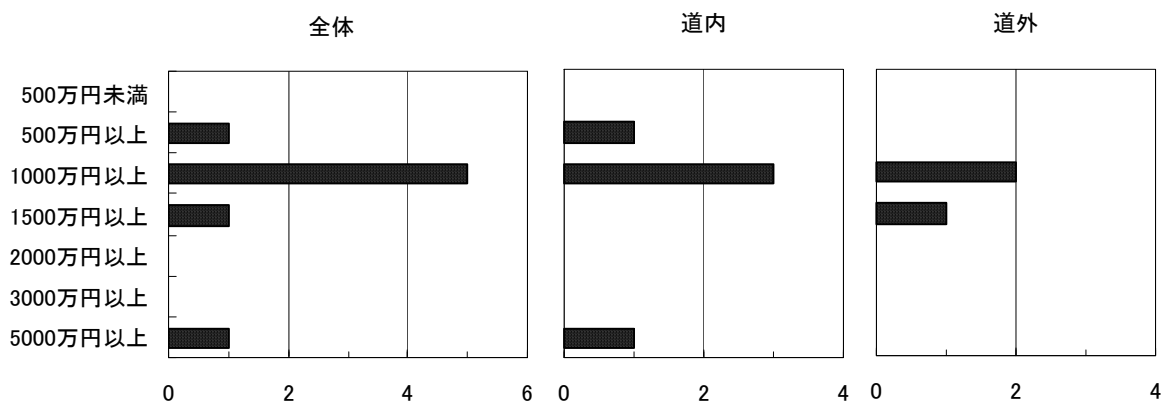
#### <その他意見>

- [評価着目点の判断基準の一部の運用]成果確実性(業務成績)の判断基準が全国(各地方整備局など)における平均評価点を許容している。全国各地方における業務成績評価点にかなりのバラツキが認められるため、公平性に欠けている。
- 本来、プロポーザル等の技術競争になるべき業務が指名競争となっている場合がある。
- 公募(簡易公募)型の割合を増やして欲しい。(建設部によりばらつきが大きい)
- プロポーザル方式で発注すべき業務が指名競争又は総合評価方式で発注されていることがやや多い。

→上記で「5. 業務規模がプロポーザル方式にふさわしくない」と答えた方にお聞きします。ふさわしいと考える業務規模はどのくらいですか。

1. 500 万円未満
2. 500 万円以上
3. 1000 万円以上
4. 1500 万円以上
5. 2000 万円以上
6. 3000 万円以上
7. 5000 万円以上

➤ プロポーザル方式にふさわしい金額としては、1,000 万円以上という回答が大多数を占めている。



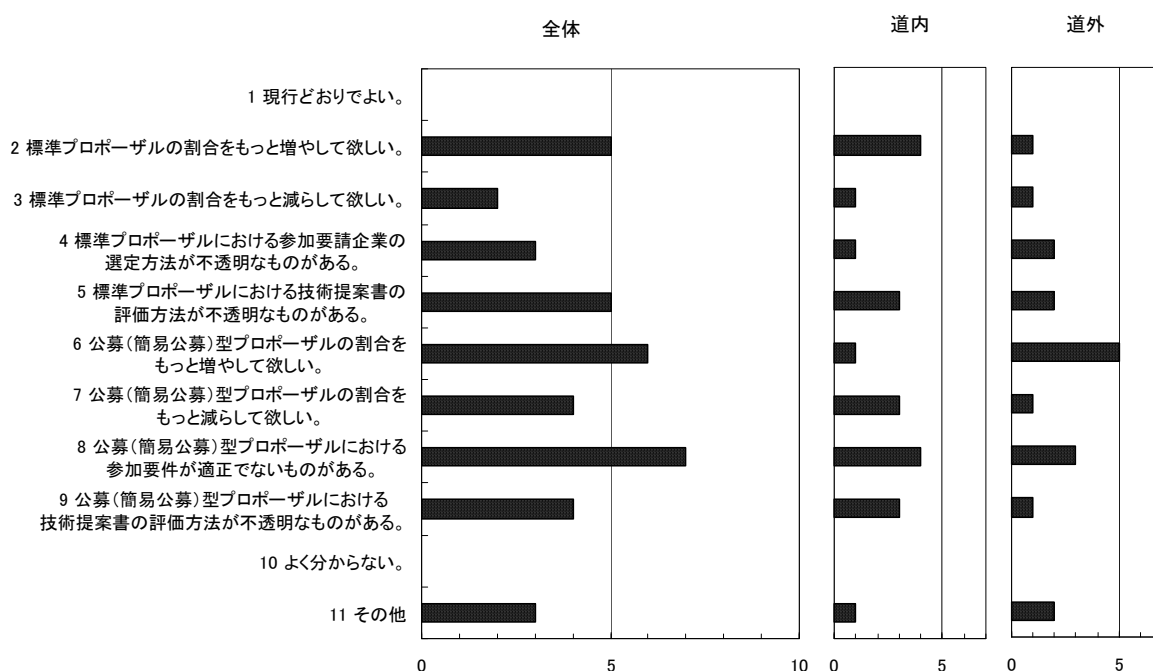
**2-2. プロポーザル方式には、公募(簡易公募)型と標準型がありますが、その運用についてどうお考えですか。(複数回答可)**

1. 現行どおりでよい。
2. 標準プロポーザルの割合をもっと増やして欲しい。
3. 標準プロポーザルの割合をもっと減らして欲しい。
4. 標準プロポーザルにおける参加要請企業の選定方法が不透明なものがある。
5. 標準プロポーザルにおける技術提案書の評価方法が不透明なものがある。
6. 公募(簡易公募)型プロポーザルの割合をもっと増やして欲しい。
7. 公募(簡易公募)型プロポーザルの割合をもっと減らして欲しい。
8. 公募(簡易公募)型プロポーザルにおける参加要件が適正でないものがある。
9. 公募(簡易公募)型プロポーザルにおける技術提案書の評価方法が不透明なものがある。
10. よく分からない。
11. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

➤ プロポーザル方式の運用については、「公募(簡易公募)型プロポーザルにおける参加要件が適正でないものがある」という回答が一番多く、次いで「公募(簡易公募)型プロポーザルの割合をもっと増やして欲しい」、「標準プロポーザルの割合をもっと増やして欲しい」、「標準プロポーザルにおける技術提案書の評価方法が不透明なものがある」の順となっている。

➤ 道内企業の回答が多く、道外企業の回答が少ない項目として、「標準プロポーザルの割合をもっと増やして欲しい」があげられる。

- 上記とは逆に、道内企業の回答が少なく、道外企業の回答が多い項目として、「公募(簡易公募)型プロポーザルの割合をもっと増やして欲しい」があげられる。



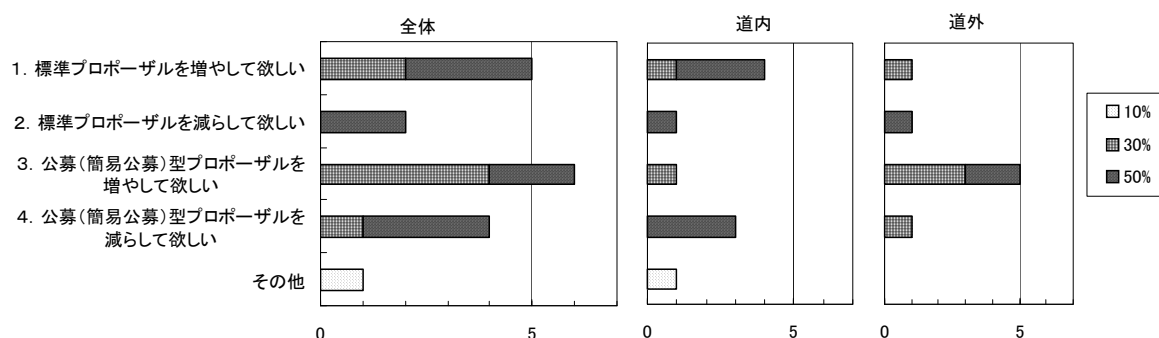
#### <その他意見>

- 公募は低入札となる場合が頻繁に発生しており、品質確保に問題があるため。
- 公募(簡易公募)型の発注が特に少ない建設部での増加を望む。
- 従来(総合評価型)の即日プロポーザル方式を増やして欲しい。

→2-2で「2.」「3.」「6.」「7.」と答えた方にお聞きます。増やす割合又は減らす割合はどのくらいでしょうか。

- 1.標準プロポーザルを増やして欲しい(+10%・+30%・+50%)
  - 2.標準プロポーザルを減らして欲しい(-10%・-30%・-50%)
  - 3.公募(簡易公募)型プロポーザルを増やして欲しい(+10%・+30%・+50%)
  - 4.公募(簡易公募)型プロポーザルを減らして欲しい(-10%・-30%・-50%)
- その他(具体的に記述してください。)

- 本質問については、道内企業と道外企業とで傾向が明らかに異なっている。
- 道内企業は、標準プロポを 50%増やし、公募(簡易公募)型プロポを 50%減らして欲しいという回答が目立つのに対して、道外企業は、公募(簡易公募)型プロポを 30%あるいは 50%増やして欲しいという、相反した回答となっている。



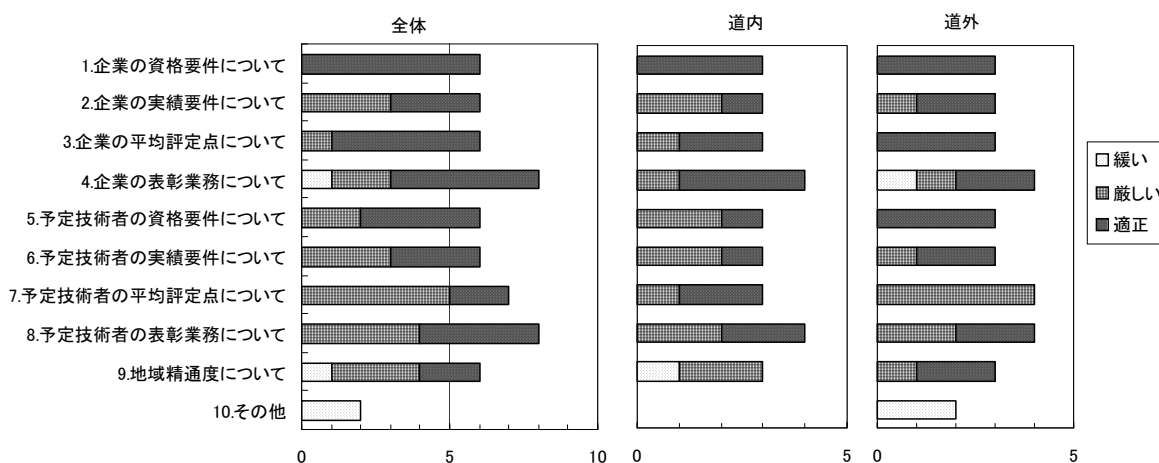
<その他意見>

- 技術者評価型(即日)プロポーザルを望みます。

→2-2で「8. 公募(簡易公募)型プロポーザルにおける参加要件が適正でないものがある」と答えた方にお聞きします。参加要件が適正でないと思うのはどうですか。(複数回答可)

- 1.企業の資格要件について(緩い・厳しい・適正)
- 2.企業の実績要件について(緩い・厳しい・適正)
- 3.企業の平均評定点について(緩い・厳しい・適正)
- 4.企業の表彰業務について(緩い・厳しい・適正)
- 5.予定技術者の資格要件について(緩い・厳しい・適正)
- 6.予定技術者の実績要件について(緩い・厳しい・適正)
- 7.予定技術者の平均評定点について(緩い・厳しい・適正)
- 8.予定技術者の表彰業務について(緩い・厳しい・適正)
- 9.地域精通度について(緩い・厳しい・適正)
- 10.その他(具体的に記述してください。)

- 2-2で「8. 公募(簡易公募)型プロポーザルにおける参加要件が適正でないものがある」と答えた回答数は7社である。
- 道内企業の回答では、特に目立った項目はないが、「地域精通度について」は緩いという回答がある。
- 道外企業では、「予定技術者の平均評定点について」を厳しいとしている回答が 100%(5社/5社)となっていることが目立っている。



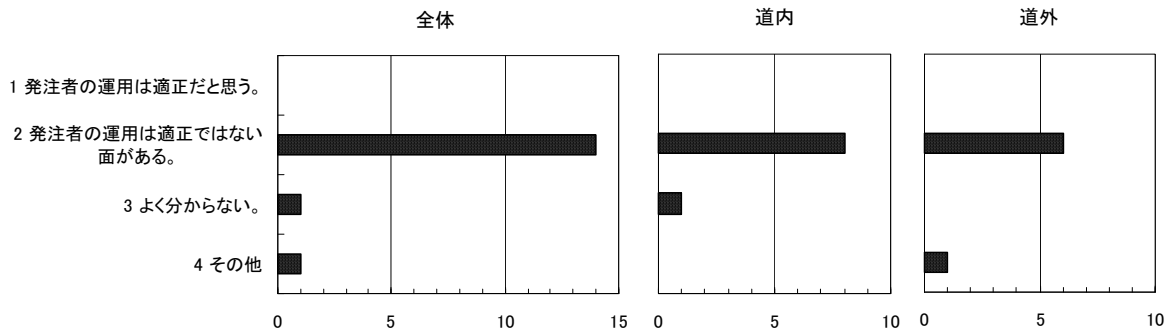
<その他意見>

- 技術者の平均評価点が、管理技術者のみの評価である。この要件では、若い技術者の登用・育成が困難となる。
- 担当者としての実績が評価されないため。

**2-3. 総合評価落札方式の運用について、どのようにお考えですか。**

- 1.発注者の運用は適正だと思う。
- 2.発注者の運用は適正ではない面がある。
- 3.よく分からない。
- 4.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

➤ 総合評価落札方式の運用については、9割近くが「発注者の運用は適正ではない面がある」という回答になっている。



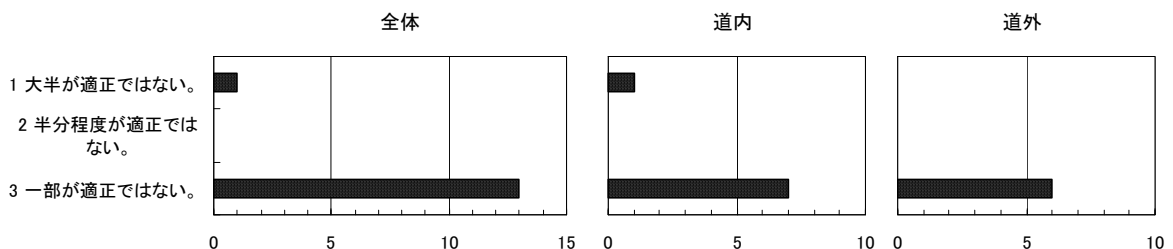
<その他意見>

- プロポーザルにすべき業務がある。簡易型(1:1)が多く価格競争の要素が強すぎるため、落札率が非常に低い。標準型を増やして欲しい。

→2-3で「2. 発注者の運用は適正ではない面がある」と答えた方にお聞きます。運用が適正ではないと思う程度についてお聞きます。

- 1.大半が適正ではない。
- 2.半分程度が適正ではない。
- 3.一部が適正ではない。

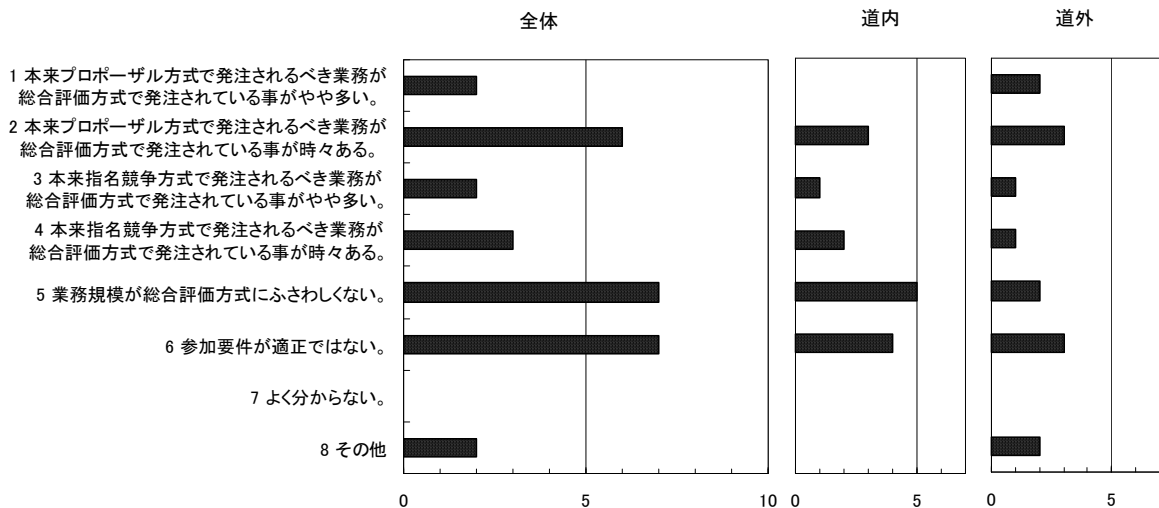
➤ 「発注者の運用は適正ではない面がある」と回答した企業の、その程度についてはほとんどが「一部が適正ではない」と回答している。



→2-3で「2. 発注者の運用は適正ではない面がある」と答えた方にお聞きます。運用が適正でないと思うのはどうしてですか。(複数回答可)

1. 本来プロポーザル方式で発注されるべき業務が総合評価方式で発注されている事がやや多い。
2. 本来プロポーザル方式で発注されるべき業務が総合評価方式で発注されている事が時々ある。
3. 本来指名競争方式で発注されるべき業務が総合評価方式で発注されている事がやや多い。
4. 本来指名競争方式で発注されるべき業務が総合評価方式で発注されている事が時々ある。
5. 業務規模が総合評価方式にふさわしくない。
6. 参加要件が適正ではない。(下段に詳細回答をお願いします)
7. よく分からない。
8. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 「発注者の運用は適正ではない面がある」と回答した企業のうち、運用が適正でない項目の上位は、全体で「業務規模が総合評価方式にふさわしくない」と「参加要件が適正ではない」という回答が最も多く、次いで「本来プロポーザル方式で発注されるべき業務が総合評価方式で発注されている事が時々ある。」の順となっている。
- 道内企業に回答がなく、道外企業の2社が回答している項目に、「本来プロポーザル方式で発注されるべき業務が総合評価方式で発注されている事がやや多い。」がある。



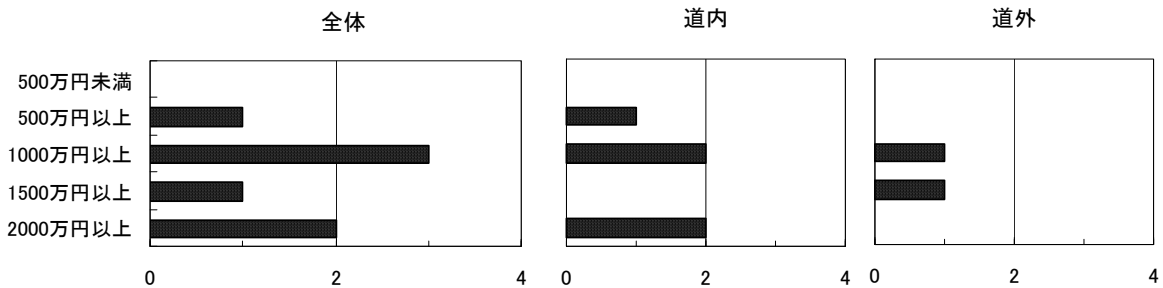
<その他意見>

- 地域性の要件が各建設部一貫していない
- 技術点のウエイトを高めて欲しい。

→上記で「5. 業務規模が総合評価方式にふさわしくない」と答えた方にお聞きます。ふさわしいと考える業務規模はどのくらいですか。

1. 500 万円未満
2. 500 万円以上
3. 1000 万円以上
4. 1500 万円以上
5. 2000 万円以上

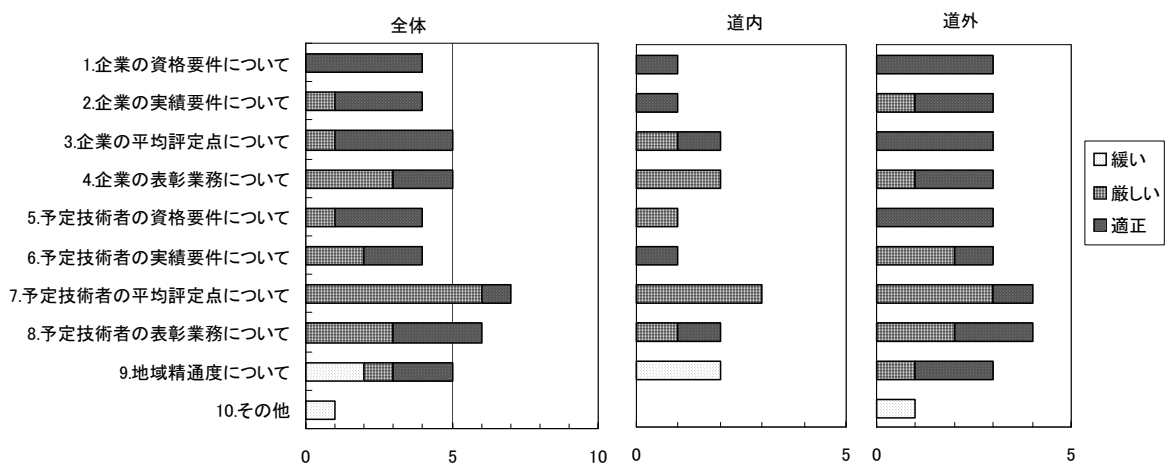
- 「業務規模が総合評価方式にふさわしくない」と回答した企業は7社（道内5社、道外2社）のうち、全体では「1,000万円以上」という回答が最も多い。
- 道内企業に限定すると、「1,000万円以上」と「2,000万円以上」という回答が同数となっている。



→上記で「6. 参加要件が適正ではない」と答えた方にお聞きします。参加要件が適正ではないと思うのはどうしてですか。（複数回答可）

- 1.企業の資格要件について(緩い・厳しい・適正)
- 2.企業の実績要件について(緩い・厳しい・適正)
- 3.企業の平均評定点について(緩い・厳しい・適正)
- 4.企業の表彰業務について(緩い・厳しい・適正)
- 5.予定技術者の資格要件について(緩い・厳しい・適正)
- 6.予定技術者の実績要件について(緩い・厳しい・適正)
- 7.予定技術者の平均評定点について(緩い・厳しい・適正)
- 8.予定技術者の表彰業務について(緩い・厳しい・適正)
- 9.地域精通度について(緩い・厳しい・適正)
- 10.その他(具体的に記述してください。)

- 全体では、予定技術者の平均評定点についての要件が厳しいという回答が多い。
- 道内企業において、地域精通度の要件が緩いという回答がある。



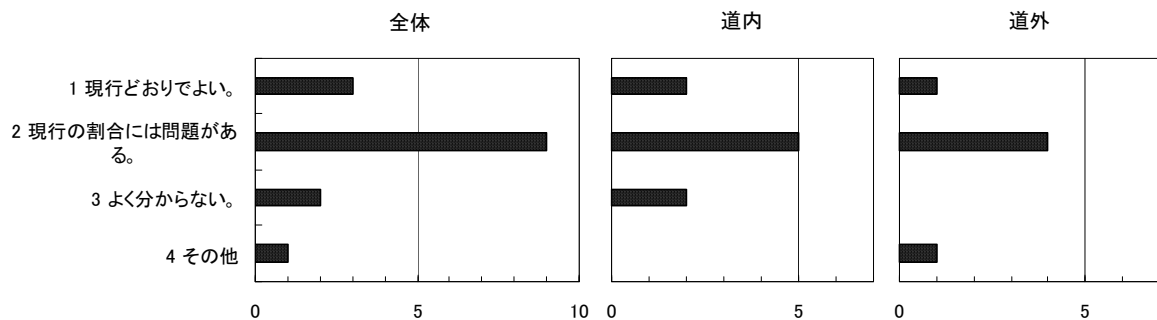
<その他意見>

- 技術者の平均評価点が、管理技術者のみの評価である。この要件では、若い技術者の登用・育成が困難となる。

## 2-5. 総合評価落札方式の技術点と価格点の割合についてどう思われますか。

1. 現行どおりでよい。
2. 現行の割合には問題がある。
3. よく分からない。
4. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 全体の6割が、「現行の割合には問題がある」と回答している。
- また、道外企業の方が、上記の回答割合が大きい結果となっている。



### <その他意見>

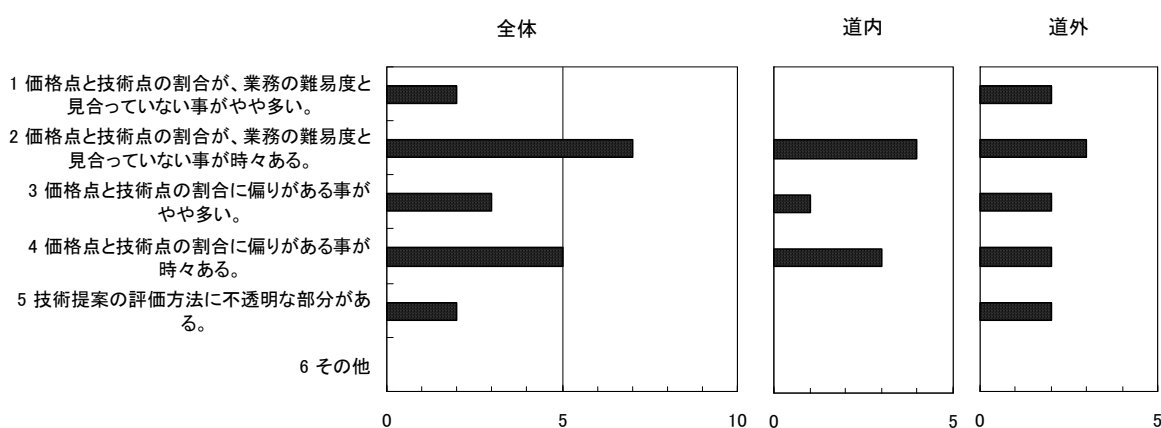
- 簡易型(1:1)が多く価格競争の要素が強すぎるため、落札率が非常に低い。標準型を増やして欲しい。

→2-5で「2. 現行の割合には問題がある」と答えた方にお聞きします。割合に問題があると思うのはどうしてですか。(複数回答可)

1. 価格点と技術点の割合が、業務の難易度と見合っていない事がやや多い。
2. 価格点と技術点の割合が、業務の難易度と見合っていない事が時々ある。
3. 価格点と技術点の割合に偏りがある事がやや多い。
4. 価格点と技術点の割合に偏りがある事が時々ある。
5. 技術提案の評価方法に不透明な部分がある。(詳細については設問3でお聞きします)
6. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 道内・道外企業ともに、「価格点と技術点の割合が、業務の難易度と見合っていない事が時々ある。」という回答が最も多い。

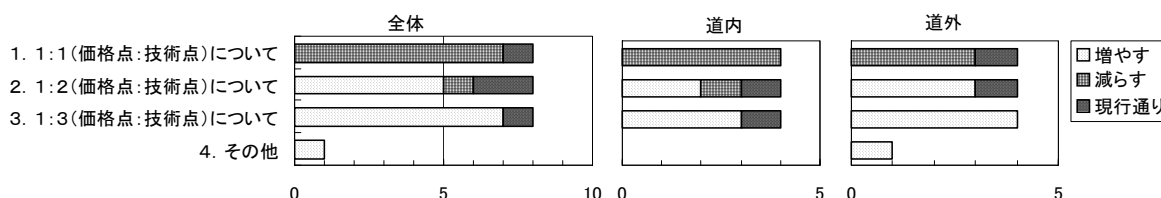




→上記で「3.」又は「4.」と答えられた方にお聞きします。今後どの総合評価の割合を「増やす」又は「減らす」にしてほしいですか。(複数回答可)

1. 1:1(価格点:技術点)について(増やす・減らす・現行通り)
2. 1:2(価格点:技術点)について(増やす・減らす・現行通り)
3. 1:3(価格点:技術点)について(増やす・減らす・現行通り)
4. その他(具体的に記述してください。)

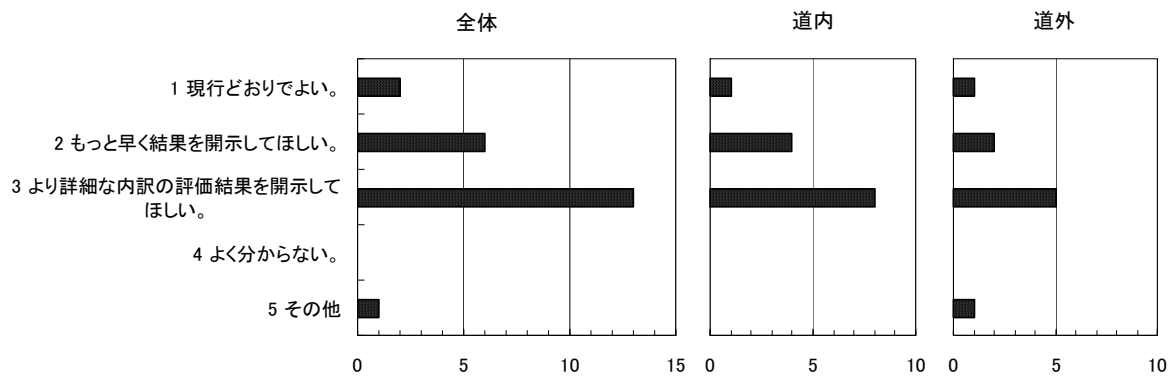
➤ 道内・道外企業ともに、「1:1」を減らし、「1:2」および「1:3」を増やすことを望む傾向となっている。



2-6. 総合評価落札方式の評価結果の開示内容について、どのようにお考えですか。(複数回答可)

1. 現行どおりでよい。
2. もっと早く結果を開示してほしい。
3. より詳細な内訳の評価結果を開示してほしい。
4. よく分からない。
5. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

➤ 道内・道外企業ともに、「より詳細な内訳の評価結果を開示してほしい。」という回答が最も多い。  
 ➤ 上記に次ぎ、道内企業においては、「もっと早く結果を開示してほしい。」という回答が多くなっている。



<その他意見>

- 少なくとも評価着目点の各判断基準ごとに評価結果を公表してほしい。次回以降の評価獲得に参考としたい。

[設問3] 技術提案の評価について

3-1. 総合評価落札方式における技術提案の評価について、項目毎の判断基準および評価配点についてどうお考えでしょうか。(太枠内のボックスから記号を選択してください。)

<判断基準についての記号>

- A. 適正
- B. 改善すべき
- C. 分からない

<評価配点についての記号>

- a. 適正
- b. ウェイトが高い
- c. ウェイトが低い
- d. 分からない

<判断基準についての記号>

- A. 適正
- B. 改善すべき
- C. 分からない

<評価配点についての記号>

- a. 適正
- b. ウェイトが高い
- c. ウェイトが低い
- d. 分からない

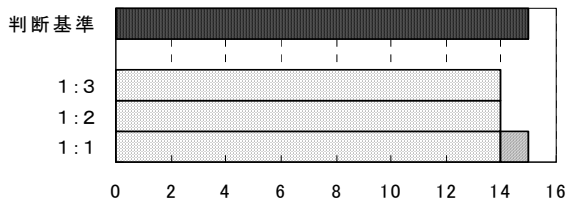
評価項目	評価の着目点			判断基準	評価配点 (価格点 : 技術点) 「照査あり」				
					1 : 3	1 : 2	1 : 1		
予定技術者の経験及び能力	管理技術者	資格要件	技術者資格	技術者資格等、その専門分野の内容	4~2		4~2		7~3.5
		専門技術力	業務執行技術力	同種業務の内容	4~2		4~2		6~3
				管理技術者としての業務成績平均点 (7段階)	20~0		15~0		20~0
				表彰業務 (局長)	4		3		5
	地域精通度	情報収集力	地域精通度 (当該建設部での業務実績の有無)	2~1		2~1		4~2	
	担当技術者	資格要件	技術者資格	技術者資格等、その専門分野の内容	2~1		2~1		3~1.5
		専門技術力	業務執行技術力	同種業務の内容	2~1		2~1		3~1.5
		地域精通度	情報収集力	地域精通度 (当該建設部での業務実績の有無)	1~0.5		1~0.5		2~1
	照査技術者	資格要件	技術者資格	技術者資格等、その専門分野の内容	2~1		2~1		3~1.5
		専門技術力	業務執行技術力	同種業務の内容	2~1		1.5~0.8		3~1.5
地域精通度		情報収集力	地域精通度 (当該建設部での業務実績の有無)	1~0.5		1~0.5		2~1	
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務理解度	目的、条件、内容理解度		15		12		20	
	実施手順	実施手順、フロー妥当性		15		12		20	
		業務量把握、工程計画							
その他	有益な代替案、重要事項指摘 地域実情把握、円滑実施提案		10		6		10		
評価テーマに関する技術提案	全体	テーマ間整合性		20					
	テーマ1	的確性		20		25			
		実現性		10		12			
	テーマ2	的確性		20					
		実現性		10					

■ 予定技術者の経験及び能力＞管理技術者＞

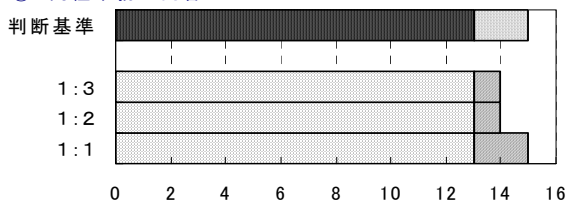
- ① 資格要件＞技術者資格＞技術者資格等、その専門分野の内容
- ② 専門技術力＞業務執行技術力＞同種業務の内容
- ③ 専門技術力＞業務執行技術力＞管理技術者としての業務成績平均点(7段階)
- ④ 専門技術力＞業務執行技術力＞表彰業務(局長)
- ⑤ 地域精通度＞情報収集力＞地域精通度(当該建設部での業務実績の有無)

- 管理技術者の評価については、「業務成績平均点」、「表彰業務(局長)」、「地域精通度」において半数以上が改善すべきという回答となっている。
- 上記3つの着目点のうち、「業務成績平均点」、「表彰業務(局長)」については、ウェイトが高いという回答であるのに対して、「地域精通度」については、ウェイトが低いという回答が少なからずある。
- なお、価格点と技術点との比率の違いによる大きな差は見られない。

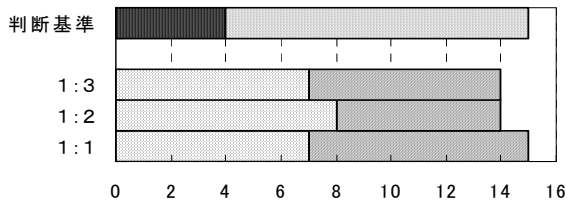
① 技術者資格等、その専門分野の内容



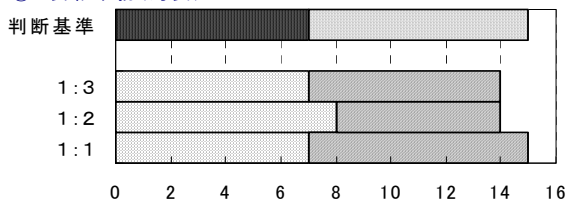
② 同種業務の内容



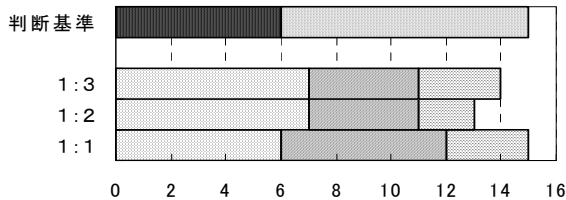
③ 管理技術者としての業務成績平均点



④ 表彰業務(局長)



⑤ 地域精通度



＜判断基準についての記号＞

- A. 適正
- B. 改善すべき
- C. 分らない

＜評価配点についての記号＞

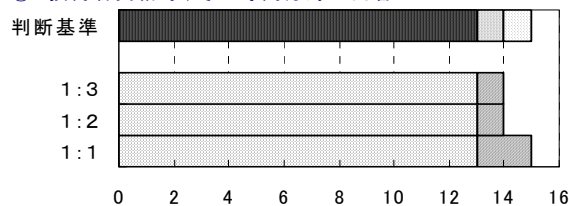
- a. 適正
- b. ウェイトが高い
- c. ウェイトが低い
- d. 分らない

■ 予定技術者の経験及び能力＞担当技術者＞

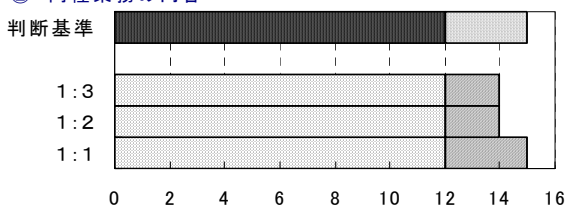
- ① 資格要件＞技術者資格＞技術者資格等、その専門分野の内容
- ② 専門技術力＞業務執行技術力＞同種業務の内容
- ③ 地域精通度＞情報収集力＞地域精通度(当該建設部での業務実績の有無)

- 担当技術者の評価については、「地域精通度」において半数以上が改善すべきという回答となっている。
- 「地域精通度」については、ウェイトが高いという回答と低いという相反する回答となっている。
- なお、価格点と技術点との比率の違いによる大きな差は見られない。

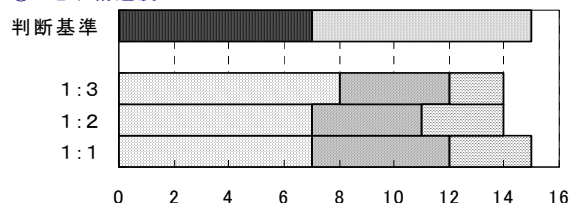
① 技術者資格等、その専門分野の内容



② 同種業務の内容



③ 地域精通度



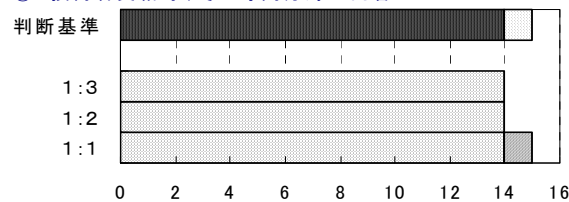
<判断基準についての記号>  
 A. 適正  
 B. 改善すべき  
 C. 分らない  
 <評価配点についての記号>  
 a. 適正  
 b. ウェイトが高い  
 c. ウェイトが低い  
 d. 分らない

■ 予定技術者の経験及び能力>照査技術者>

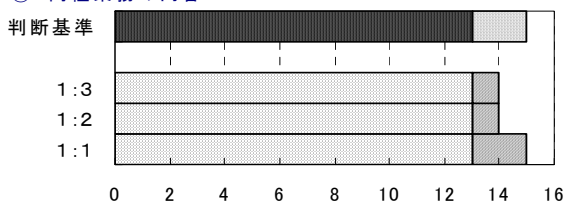
- ① 資格要件>技術者資格>技術者資格等、その専門分野の内容
- ② 専門技術力>業務執行技術力>同種業務の内容
- ③ 地域精通度>情報収集力>地域精通度(当該建設部での業務実績の有無)

- 照査技術者の評価についても、担当技術者と同様、「地域精通度」において半数以上が改善すべきという回答となっている。
- 「地域精通度」については、担当技術者と比較し、ウェイトが高いという回答が低いという回答をやや上回っている。
- なお、価格点と技術点との比率の違いによる大きな差は見られない。

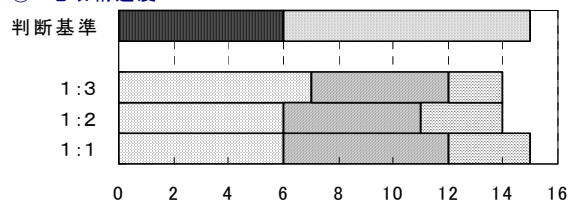
① 技術者資格等、その専門分野の内容



② 同種業務の内容



③ 地域精通度



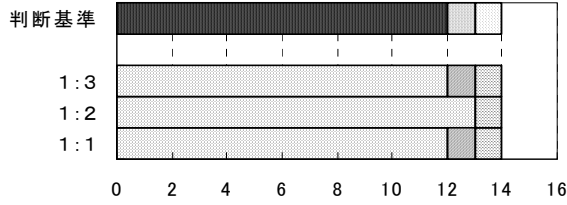
<判断基準についての記号>  
 A. 適正  
 B. 改善すべき  
 C. 分らない  
 <評価配点についての記号>  
 a. 適正  
 b. ウェイトが高い  
 c. ウェイトが低い  
 d. 分らない

■ 実施方針・実施フロー・工程表・その他>

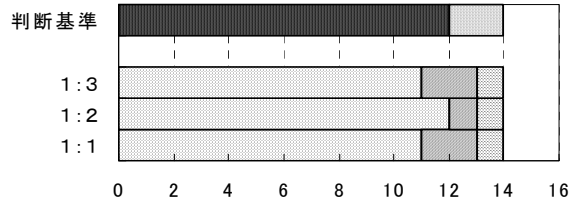
- ① 業務理解度>目的、条件、内容理解度
- ② 実施手順>実施手順、フロー妥当性
- ③ 実施手順>業務量把握、工程計画
- ④ その他>有益な代替案、重要事項指摘
- ⑤ その他>地域実情把握、円滑実施提案

- 実施方針・実施フロー・工程表・その他については、ほとんどが適正であるという回答となっている。

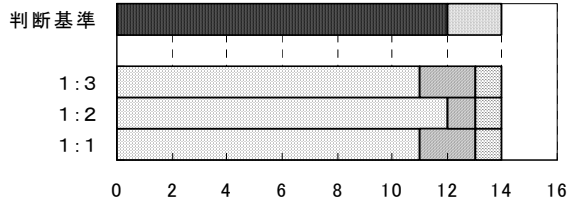
① 目的、条件、内容理解度



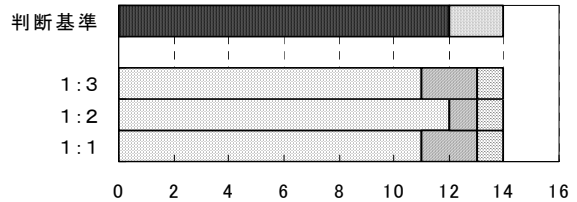
② 実施手順、フロー妥当性



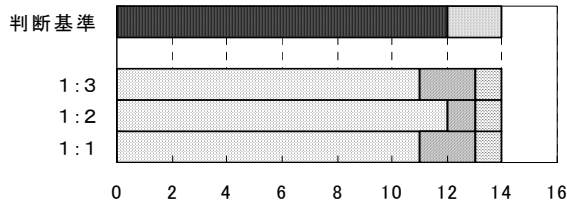
③ 業務量把握、工程計画



④ 有益な代替案、重要事項指摘



⑤ 地域実情把握、円滑実施提案



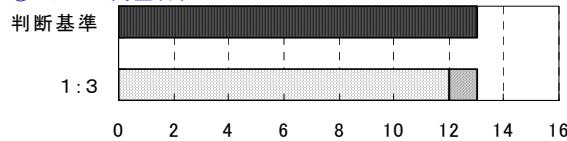
<判断基準についての記号>	
■	A. 適正
▨	B. 改善すべき
□	C. 分からない
<評価配点についての記号>	
□	a. 適正
▨	b. ウェイトが高い
□	c. ウェイトが低い
□	d. 分からない

■ 評価テーマに関する技術提案>

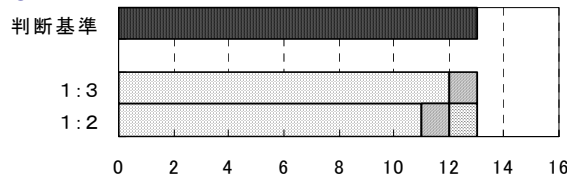
- ① 全体>テーマ間整合性
- ② テーマ1>的確性
- ③ テーマ1>実現性
- ④ テーマ2>的確性
- ⑤ テーマ2>実現性

➤ 評価テーマに関する技術提案についても、ほとんどが適正であるという回答となっている。

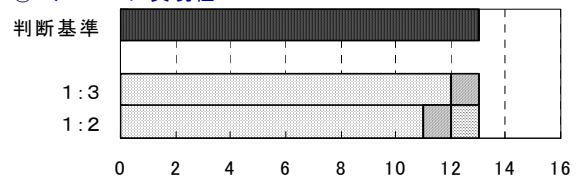
① テーマ間整合性



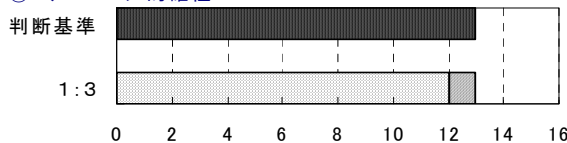
② テーマ1>的確性



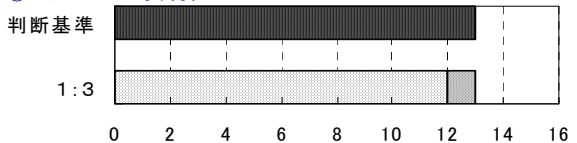
③ テーマ1>実現性



④ テーマ2>的確性



⑤ テーマ2>実現性



<判断基準についての記号>	
■	A. 適正
▨	B. 改善すべき
□	C. 分からない
<評価配点についての記号>	
□	a. 適正
▨	b. ウェイトが高い
□	c. ウェイトが低い
□	d. 分からない

→前記表において、判断基準で「B. 改善すべき」と答え方にお聞きします。具体的に何が問題でどのように改善すべきと思われますか。(複数回答可)

- 具体的な回答は下表のとおりであるが、「管理技術者としての業務成績平均点」に対する改善要望が最も多い。
- 具体的な要望としては、「担当技術者としての実績も評価する」や「建設部間のバラツキをなくすべき」といった内容があがっている。
- 次に多いのが、「表彰業務(局長)」と「地域精通度」に関してとなっている。
- 「表彰業務(局長)」に対する具体的な改善要望としては、部長表彰も加えるべきといった要望やそもそも評価項目から外してほしいという意見があがっている。
- 「地域精通度」に対する具体的な改善要望としては、業務によって評価を変えるべきという意見やウェイトを下げてほしいという意見があがっている。

評価着目点	現状の問題点	改善要望
同種業務の内容	同種業務の実績	ない場合は0点でも可として採用
管理技術者の専門技術力	技術者の平均評価点が、管理技術者のみの評価である。この要件では、若い技術者の登用・育成が困難となる。	担当技術者としての業務成績評価も加えるべき。
同種業務	業務の内容に対し、整合しない場合が多い(制限をかける文言が不明の場合がある)	建設部間の調整等で適正化、標準化で対応
管理技術者としての業務成績平均点	管理技術者としての業務のみ評価対象である	担当技術者としての実績も評価して欲しい
	管理技術者の経験がなければ0点であるため、新たな管理技術者が増えない。	担当技術者時の評価点も有効にして評価基準を緩和してほしい。
	各建設部での評価のバラツキ等を考慮すべきではないか	建設部ごとの分析を行い、整合を図る
	配点が高過ぎてバランスが悪い。	配点を低くする。
	若手が新たに管理技術者になれない。	管理または担当で従事した業務の成績を対象とする。
	評価段階を細分化しすぎで全体ウェイトも高い	各開建で評価点のばらつきがあり、同様な対応、成果でも評価が違う現状ではもっと段階を少なくしウェイトを低くしてほしい。
	担当者によって評価のバラツキはないのだろうか。	より客観的な尺度で評価して欲しい。
	技術者の平均評価点が、管理技術者のみの評価である。この要件では、若い技術者の登用・育成が困難となる。	担当技術者としての業務成績評価も加えるべき。
	担当したすべての業務の成績を平均した点数によって評価されている。	応募する業務の同種業務の成績平均点にしてほしい。
	ウェイトが高すぎる	ウェイトを低く 担当技術者としての成績も評価すべき
管理技術者としての実績を有する者しか配点がないため、管理技術者に値する能力を持ちながら管理技術者の実績がない中堅・若手技術者の参加機会が得られていない。	担当技術者としての実績しかない者は、例えば20件以上の実績があれば担当技術者としての業務成績評定点でも同等とみなす等の緩和策を要望します。	

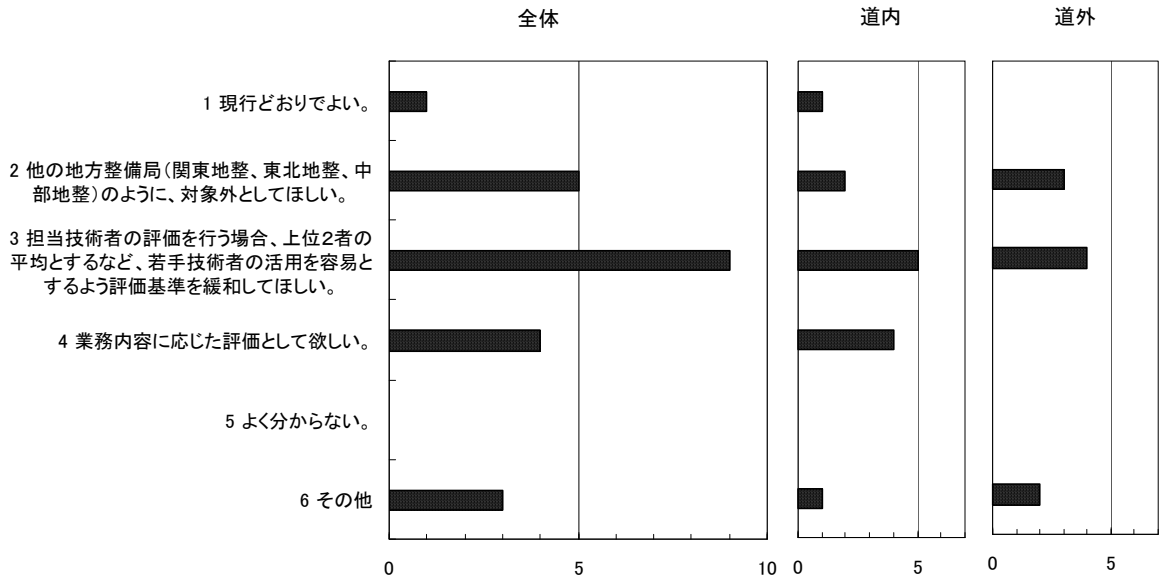
	北海道開発局発注業務実績が無い場合は、地方整備局発注業務の平均評価点を採用している。各発注機関により評価点の運用に大きなバラツキがある。	北海道開発局発注業務の業務成績平均点のみを判断基準とすべき
担当技術者の評価	若手の育生が苦難	要件は問わない。または担当は代表者1名を評価。
表彰業務(局長)	局長表彰のみでかつウェイトが高い	部長表彰を考慮し、ウェイトも低くする
	当該業務に関係しない分野での表彰も評価対象となっている。	表彰は評価から除いて欲しい。
	企業努力として必要だが比較的一定規模以上の企業に限定される	業務難易度に応じて評価適用を区分してはどうか
	管理技術者としての業務及び局長表彰のみ評価対象である	担当技術者としての実績及び部長表彰も評価して欲しい
	ウェイトが高い	表彰件数に応じた配点にして欲しい(他地整に比べて表彰件数が少ない)
	局長表彰を受ける会社が数的に限られている。また、偏っている。	表彰制度の見直しと、局長表彰以外の表彰も認めてほしい。
	表彰の対象者は少数であるため、評価を受ける企業が限定されてしまう	評価の着目点から削除する
地域精通度(当該建設部での業務実績の有無)	幅広い見知からの照査の観点で考えると地域限定評価の必要性に疑問	業務内容に応じて評価適用を区分してはどうか
	業務内容の違いの要素の制限がない(構造と道路計画は同種ではない)	業務ごとに評価が必要
	当該建設部での実績であっても地域が広く精通度を計るには疑問がある。	精通度よりも同種業務の実績に重点を置くべきではないか。
	各開建での地域性の違いはわかるが、評価項目として確実に必要か	担当者、照査技術者の評価基準から除き、管理技術者のウェイトは下げる
	ウェイトが高い	ウェイトを低く
	地域設定が狭いために、参加機会に恵まれないケースがある。	例えば、隣接する建設部も加える等の緩和策を要望します。
実施方針・実施フロー・工程表・その他	評価ウェイトが低く技術点の差がつかないため、落札率低下の一因となっている	予定技術者の経験及び能力に対し、技術提案のウェイトを高めて欲しい
実施手順	フロー、行程計画の配点ウェイトが高い	業務の理解度、その他への配点配分
その他の提案	業務精通度によって差が生じる業務内容によっては提案困難	業務内容に応じてウェイトを変動させてはどうか



### 3-2. 技術提案における担当技術者の評価についてどうお考えですか。(複数回答可)

1. 現行どおりでよい。
2. 他の地方整備局(関東地整、東北地整、中部地整)のように、対象外としてほしい。
3. 担当技術者の評価を行う場合、上位2者の平均とするなど、若手技術者の活用を容易とするよう評価基準を緩和してほしい。
4. 業務内容に応じた評価として欲しい。
5. よく分からない。
6. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 全体の 6 割が、「担当技術者の評価を行う場合、上位2者の平均とするなど、若手技術者の活用を容易とするよう評価基準を緩和してほしい。」と回答している。
- 次いで多い回答が、「他の地方整備局(関東地整、東北地整、中部地整)のように、対象外としてほしい。」となっている。
- 道内企業においては、「業務内容に応じた評価として欲しい。」という道外企業にはない回答があることが目立っている。



#### <その他意見>

- コンサルタントの実体の管理技術者と担当者の業務重要度を分析し、現行が適正かの判断を行う必要がある
- 評価点が得られる技術者のみを配置することとなり、受注後に担当技術者の追加が認められない場合がある。若手技術者の実績をつけられない。
- 上位1名のみ評価対象とし、若手技術者の活用を図りたい。

→3-2で「4. 業務内容に応じた評価として欲しい」と答えた方にお聞きます。業務内容に応じた評価についてどのようにお考えですか。(複数回答可)

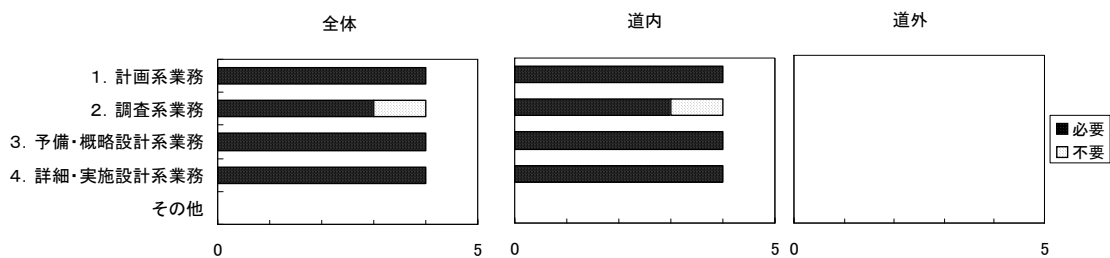
1. 計画系業務
2. 調査系業務
3. 予備・概略設計系業務
4. 詳細・実施設計系業務
- その他(具体的に記述してください。)

※平均評価とは担当技術者全員の平均点を評価する。

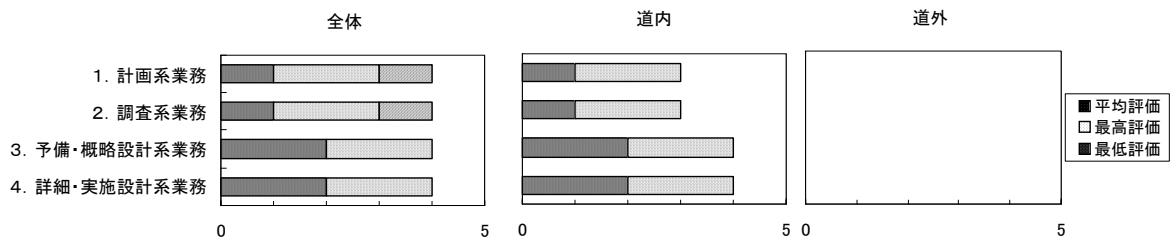
※最高評価とは担当技術者のうち最高点数の者を評価する。

※最低評価とは担当技術者のうち最低点数の者を評価する。

- 道内企業4社からだけの回答となっているが、本質問であげた4つの業務いずれにおいても、担当技術者の評価が必要としている。
- なお、評価が必要とした場合の評価方法については、「平均評価」と「最高評価」とがほぼ半々の回答となっている。



上記のうち、必要と回答の場合の評価方法

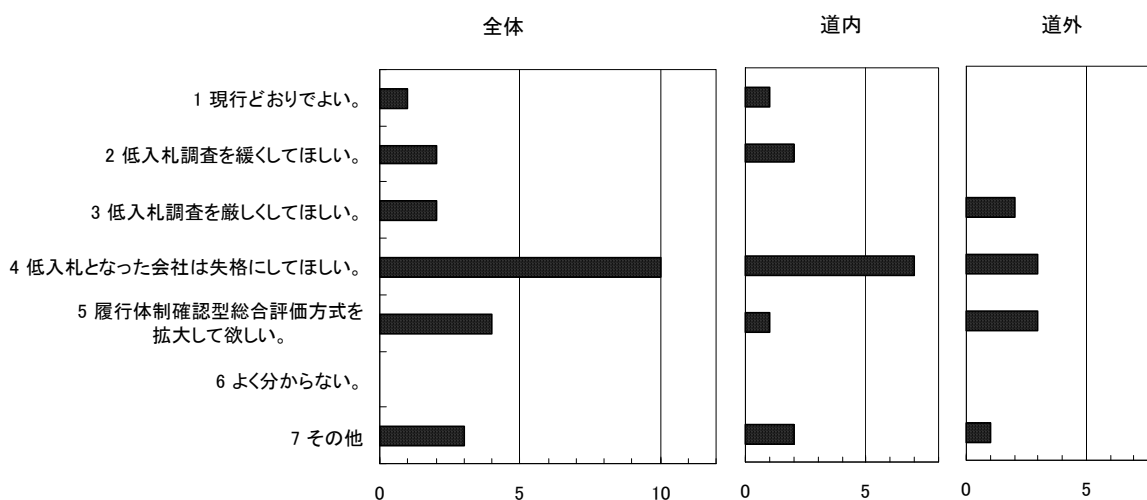


## [設問4] 低入札対策について

### 4-1. 低入札となった場合の低入札調査について、どのようにお考えですか。(複数回答可)

1. 現行どおりでよい。
2. 低入札調査を緩くしてほしい。
3. 低入札調査を厳しくしてほしい。
4. 低入札となった会社は失格にしてほしい。
5. 履行体制確認型総合評価方式を拡大して欲しい。
6. よく分からない。
7. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 「低入札となった会社は失格にしてほしい。」という回答が最も多く、特に道内企業において、その傾向が強く見られる。
- 次に、「履行体制確認型総合評価方式を拡大して欲しい。」という回答が多い。



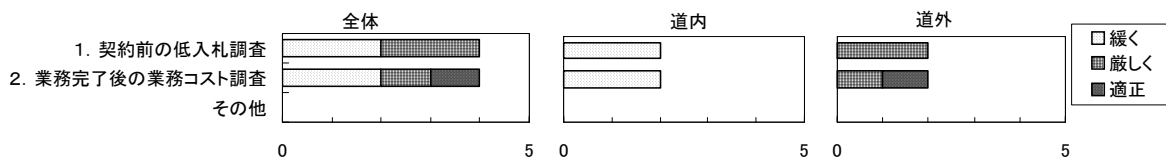
#### <その他意見>

- 最低基準価格を上げ、低入調査を厳しくしてほしい。
- 入札額の発注者側の設計額と受注者側の見積額の突き合せ確認されたい。
- 調査後に低入札ではない業者が落札となった場合でも、契約が遅れ、工期が圧迫される。

→4-1で「2. 」又は「3. 」と答えた方にお聞きします。低入札調査で「緩く」又は「厳しく」してほしい条件はどれでしょうか。(複数回答可)

1. 契約前の低入札調査(緩く・厳しく・適正)
  2. 業務完了後の業務コスト調査(緩く・厳しく・適正)
- その他(具体的に記述してください。)

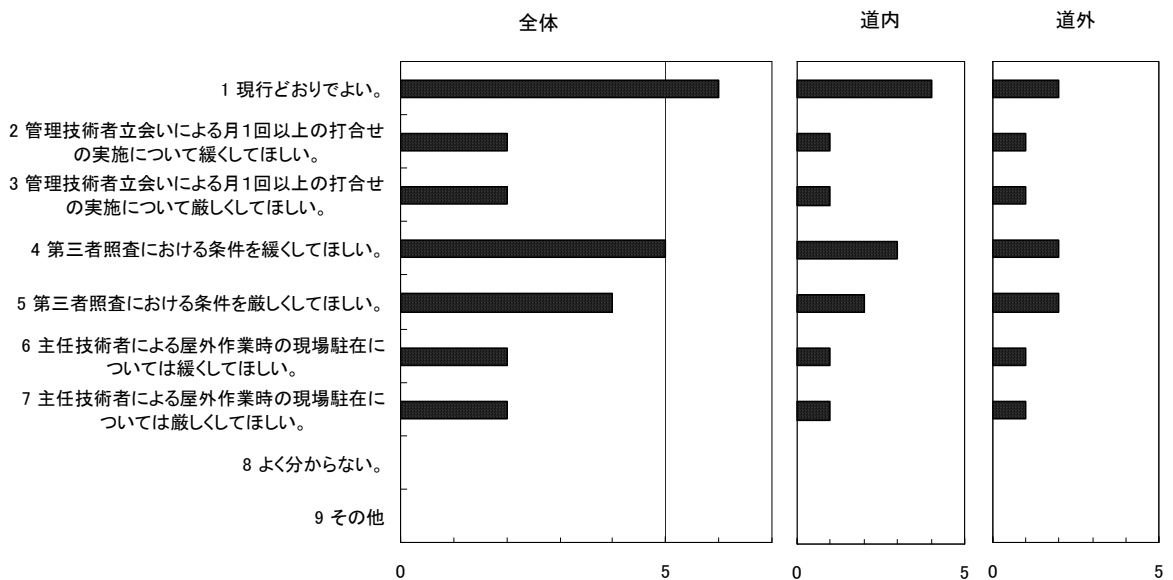
- 回答数が少なく有意性に欠ける面があるが、契約前、業務完了後の調査ともに、道内企業はいずれも「緩く」してほしいという回答であるのに対して、道外企業は逆に「厳しく」してほしいという回答となっている。



**4-2. 低入札となった場合の品質確保対策の試行について、どのようにお考えですか。(複数回答可)**

1. 現行どおりでよい。
2. 管理技術者立会いによる月1回以上の打合せの実施について緩くしてほしい。
3. 管理技術者立会いによる月1回以上の打合せの実施について厳しくしてほしい。
4. 第三者照査における条件を緩くしてほしい。
5. 第三者照査における条件を厳しくしてほしい。
6. 主任技術者による屋外作業時の現場駐在については緩くしてほしい。
7. 主任技術者による屋外作業時の現場駐在については厳しくしてほしい。
8. よく分からない。
9. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

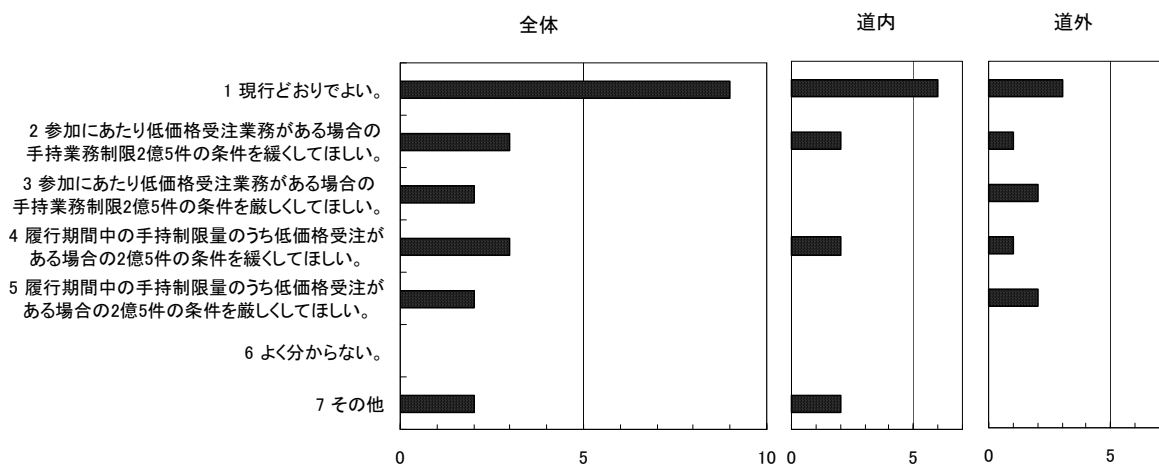
- 全体の4割が「現行どおりでよい。」としている。
- 第三者照査における条件については、「緩くしてほしい」と「厳しくしてほしい」という相反する回答が拮抗している。



4-3. 「低価格受注業務がある場合における予定管理技術者の手持ち業務量の制限等」の試行についてどのようにお考えでしょうか。(複数回答可)

1. 現行どおりでよい。
2. 参加にあたり低価格受注業務がある場合の手持業務制限 2 億 5 件の条件を緩くしてほしい。
3. 参加にあたり低価格受注業務がある場合の手持業務制限 2 億 5 件の条件を厳しくしてほしい。
4. 履行期間中の手持制限量のうち低価格受注がある場合の 2 億 5 件の条件を緩くしてほしい。
5. 履行期間中の手持制限量のうち低価格受注がある場合の 2 億 5 件の条件を厳しくしてほしい。
6. よく分からない。
7. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

➤ 全体の 6 割が「現行どおりでよい。」としている。



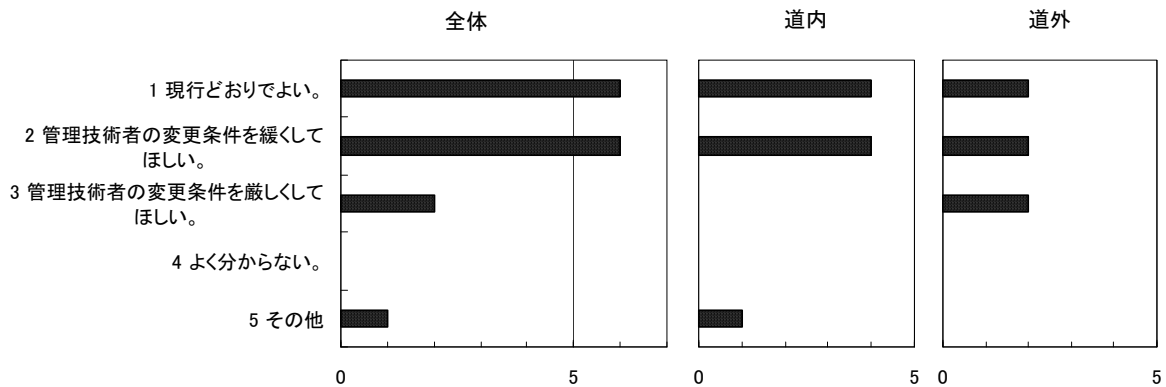
<その他意見>

- 手持業務制限本数5件の条件を緩くしてほしい。
- 手持ち業務量の制限件数を緩くして欲しい。工期の長い観測を伴う業務を担当している技術者にとって件数制限は厳しい。

4-4. 業務履行期間中における手持ち業務量の制限を越えた場合の管理技術者の変更条件についてどのようにお考えでしょうか。(複数回答可)

1. 現行どおりでよい。
2. 管理技術者の変更条件を緩くしてほしい。
3. 管理技術者の変更条件を厳しくしてほしい。
4. よく分からない。
5. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

➤ 「現行どおりでよい。」と「管理技術者の変更条件を緩くしてほしい。」という回答が同数で、各々全体の 4 割を占めている。



<その他意見>

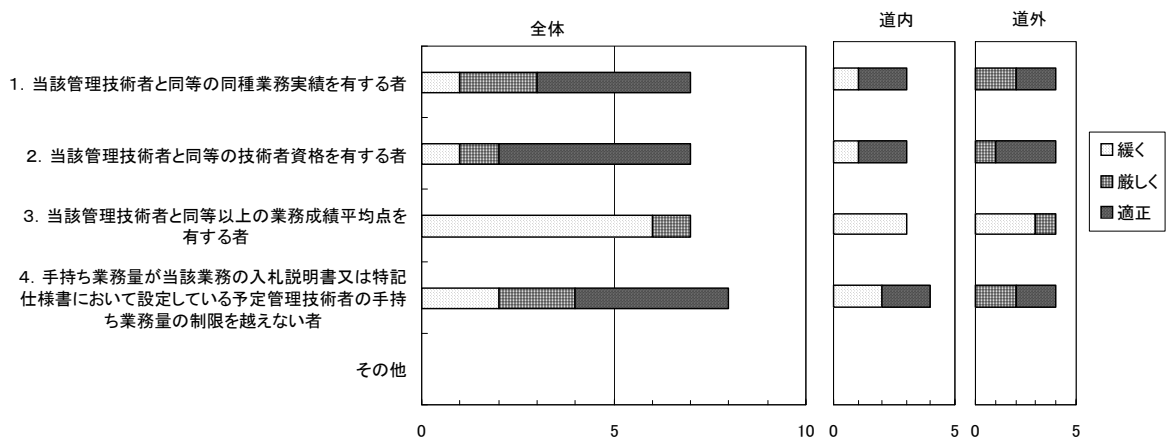
- 4-3と同じ、件数制限5件の条件緩和。

→4-4で「2.」又は「3.」と答えた方にお聞きます。「緩く」又は「厳しく」してほしいと思う条件はどれでしょうか。(複数回答可)

1. 当該管理技術者と同等の同種業務実績を有する者(緩く・厳しく・適正)
2. 当該管理技術者と同等の技術者資格を有する者(緩く・厳しく・適正)
3. 当該管理技術者と同等以上の業務成績平均点を有する者(緩く・厳しく・適正)
4. 手持ち業務量が当該業務の入札説明書又は特記仕様書において設定している予定管理技術者の手持ち業務量の制限を越えない者(緩く・厳しく・適正)

その他(具体的に記述してください。)

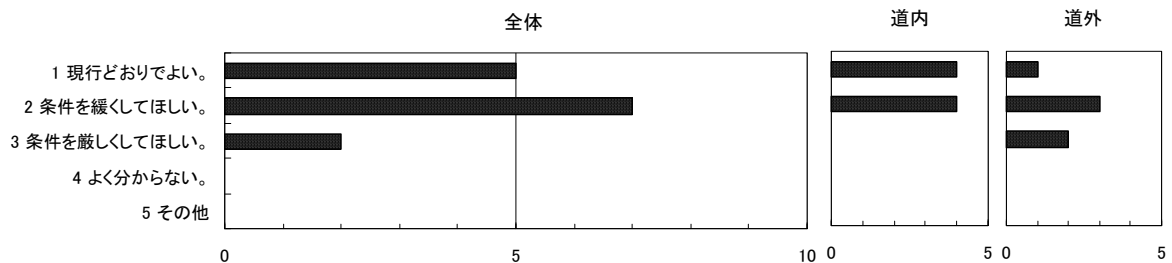
➤ 「当該管理技術者と同等以上の業務成績平均点を有する者」という条件を、緩くしてほしいという回答が際だっており、これは道内・道外企業ともにほぼ同様である。



**4-5. 該当業務において低入札調査となった場合、管理技術者とは別に配置する担当者技術者の条件についてどのようにお考えでしょうか。(複数回答可)**

1. 現行どおりでよい。
2. 条件を緩くしてほしい。
3. 条件を厳しくしてほしい。
4. よく分からない。
5. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

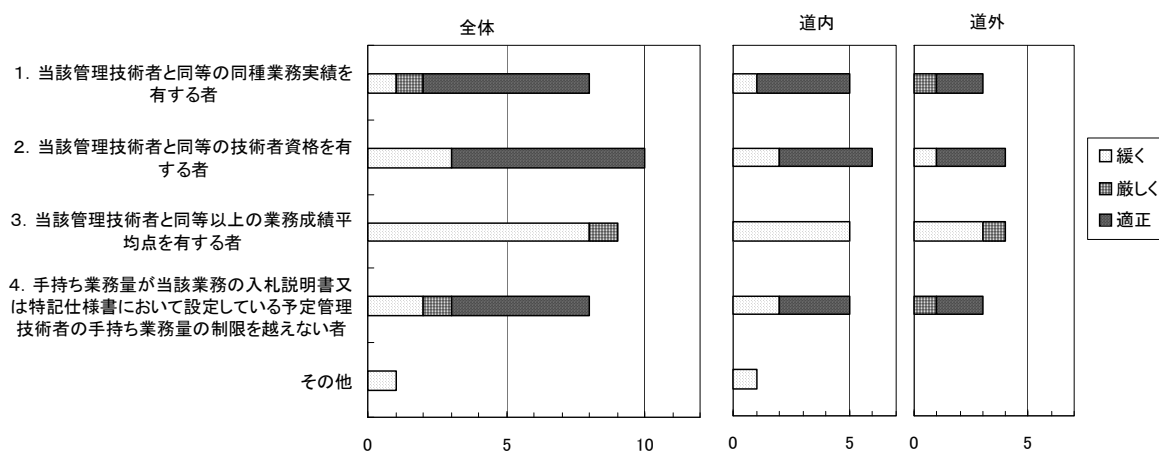
- 「条件を緩くしてほしい」という回答が一番多く、次いで「現行どおりでよい。」という回答が多くなっている。
- 道外企業においては、「条件を厳しくしてほしい」という回答が「現行どおりでよい」よりも上回っている。



**→4-5で「1.」又は「2.」と答えた方にお聞きします。「緩く」又は「厳しく」してほしいと思う条件はどれでしょうか。(複数回答可)**

1. 当該管理技術者と同等の同種業務実績を有する者(緩く・厳しく・適正)
  2. 当該管理技術者と同等の技術者資格を有する者(緩く・厳しく・適正)
  3. 当該管理技術者と同等以上の業務成績平均点を有する者(緩く・厳しく・適正)
  4. 手持ち業務量が当該業務の入札説明書又は特記仕様書において設定している予定管理技術者の手持ち業務量の制限を越えない者(緩く・厳しく・適正)
- その他(具体的に記述してください。)

- 「当該管理技術者と同等以上の業務成績平均点を有する者」という条件を、緩くしてほしいという回答が際だっており、これは道内・道外企業ともにほぼ同様である。



<その他意見>

- 3.平均点は実際には品質とはあまりリンクしていない。

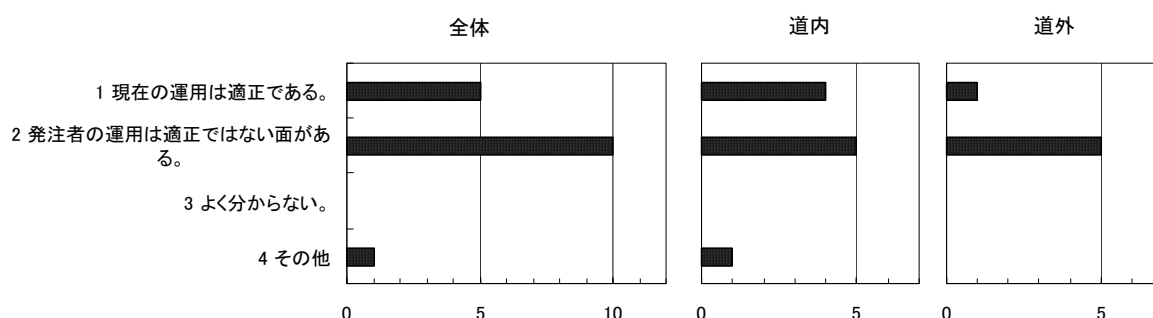


## [設問5] 調査基準価格の設定について

5-1. 現在予定価格 1,000 万円以上の業務について調査基準価格が設定されておりますが、どのようにお考えでしょうか。(複数回答可)

- 1.現在の運用は適正である。
- 2.現在の運用は適正ではない面がある。
- 3.よく分からない。
- 4.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 「現在の運用は適正ではない面がある」という回答が全体の 2/3 を占めている。
- 特に、道外企業においては、5/6 が上記回答となっている。



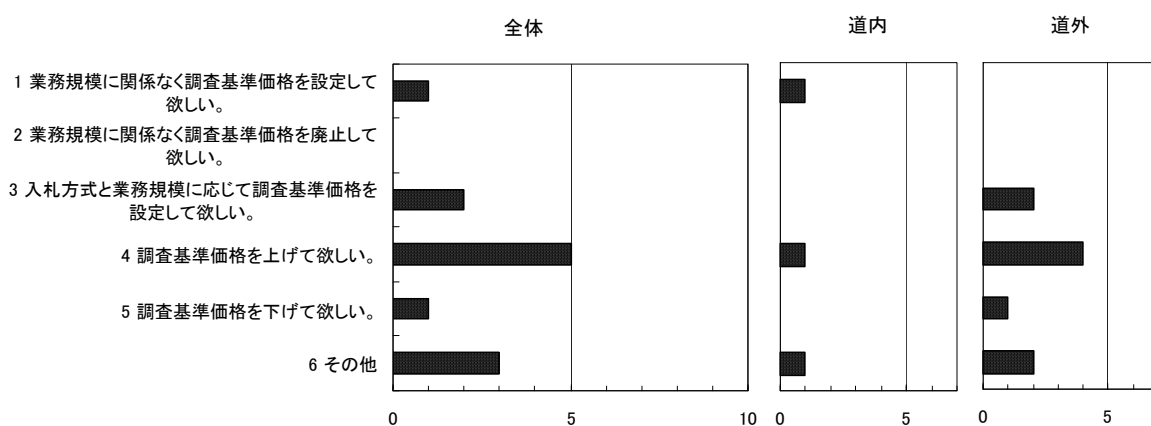
### <その他意見>

- 見積策定単価が業務に含まれている場合、質問書によって回答を求めても「貴社で考えてください。」との回答が見受けられる。その項目により大きく積算が発注者と異なる場合があり、開示されない見積策定単価を含む業務で調査基準価格を設定することは適切ではないと思う。

→5-1で「2. 現在の運用は適正ではない面がある」と答えた方にお聞きします。運用が適正でないと思うのはどうしてですか。(複数回答可)

- 1.業務規模に関係なく調査基準価格を設定して欲しい。
- 2.業務規模に関係なく調査基準価格を廃止して欲しい。
- 3.入札方式と業務規模に応じて調査基準価格を設定して欲しい。
- 4.調査基準価格を上げて欲しい。
- 5.調査基準価格を下げて欲しい。
- 6.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 「現在の運用は適正ではない面がある」という回答の理由としては、「調査基準価格を上げて欲しい」という回答が最も多くなっている。



<その他意見>

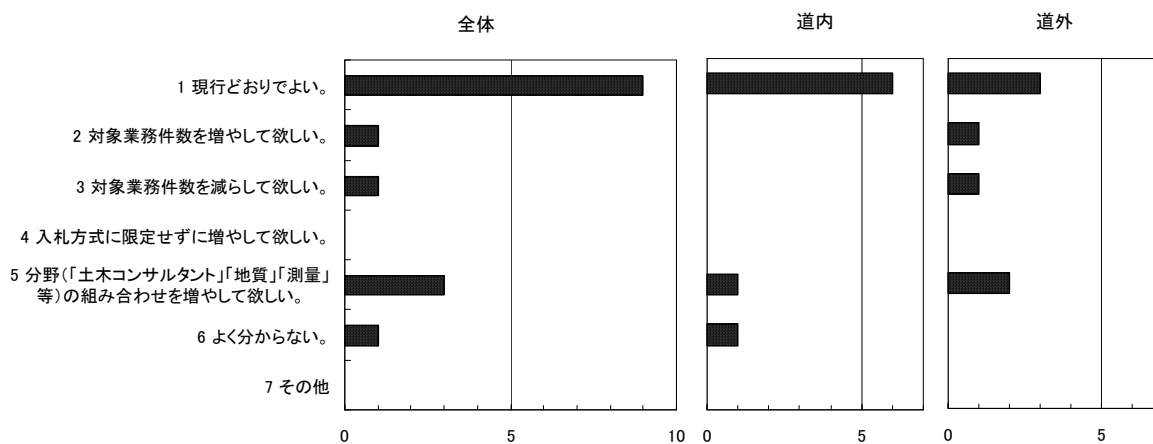
- 予定価格 1,000 万円以下の業務において 50%前後の落札率業務が多く見受けられる。500 万円以上に対象を拡大してはどうか
- 公募(簡易公募)型競争入札よりも総合評価落札方式(1:1)の落札率が低いのは問題。技術競争の要素が低すぎる。
- 積算根拠を明確に開示してもらいたい(旅費、基準日額、現地調査・踏査の日数、見積部分の工種毎職種毎の人工)。

## [設問6] 設計共同体方式について

6-1. 現在、公募(簡易公募)型で実施されている設計共同体方式について、どのようにお考えですか。(複数回答可)

1. 現行どおりでよい。
2. 対象業務件数を増やして欲しい。
3. 対象業務件数を減らして欲しい。
4. 入札方式に限定せずに増やして欲しい。
5. 分野(「土木コンサルタント」「地質」「測量」等)の組み合わせを増やして欲しい。
6. よく分からない。
7. その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 「現行どおりでよい」という回答が全体の 6 割を占めている。
- 「分野の組み合わせを増やして欲しい」という回答が 2 割ある。

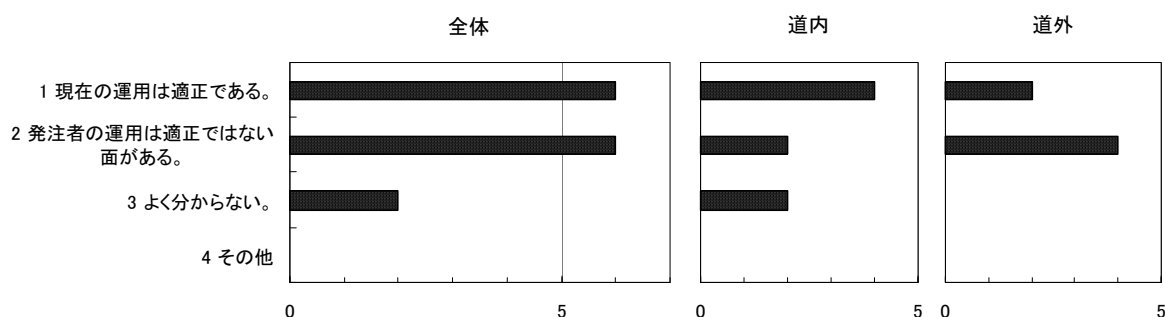


## [設問7]公益法人との重複入札について

7-1. 公益法人と重複して入札参加する方式について、どのようにお考えですか。(複数回答可)

- 1.現在の運用は適正である。
- 2.現在の運用は適正ではない面がある。
- 3.よく分からない。
- 4.その他(具体的に記述してください、またコメントがあれば合わせて記述ください。)

- 全体では、「現在の運用は適正である。」と「現在の運用は適正ではない面がある」という回答が同数となっている。
- 道内企業では前者が上回っており、道外企業では後者が上回っている。



→7-1で「2. 現在の運用は適正でない面がある」と答えた方にお聞きします。運用が適正でないと思うのはどうしてですか。(自由記入)

- 経営体質と目的が異なる物と競合することは望ましいと思わない。
- 公益法人と一般法人は納税額も異なり、従って諸経費率も異なるのだから重複すべきでない。
- 諸経費、技術経費等の相違はどのようにするのか？
- 発注者支援業務における競争は、民間が圧倒的に不利で独占状態が続いている。さらなる民間開放を進めて欲しい。
- 公益法人の設立趣旨、本来の業務内容から、民間と同様な入札方式での重複参加は考え直すべきと考える。当然透明性が確保できない可能性がある。

## その他

自由意見(何かございましたら記入ください。)

- 技術提案の評価配点について、「経験および能力」における「業務成績平均点」と、「表彰業務」に対する配点比率が高すぎる。
- 疑わしい場合、相方の予定額を確認し合う事が初めにあるべき！ 予定額のミスも可能性はゼロではない。昨年も現実に2つの建設部で遭遇した。民間にだけリスクを負わず堂々と公開すべきです。
- 積算基準の公表、旅費規程の開示、また、これらの講習会を開催し周知する。・見積徴収をする業務の発注は、プロポーザル方式によるのがよい。・発注方式の明確な適用基準を示すべきと考える。現状では、指名競争、公募(簡易)、プロポーザルにおいて違いがよく分からない。総合評価の比率が飛躍的に増加しているが、内容は従来の指名競争程度の内容と思われる。・公募(簡易)では指名基準によって、点数化されているので、指名通知時には点数を公表するべきと思う。
- 1.技術提案を行うプロポーザル方式では、ヒアリングを必ず実施して欲しい。2.プロポーザル方式の評価結果をより詳細に開示して欲しい。3.プロポーザル業務を増加して欲しい。

以上